

授業科目	基礎セミナー	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	仙石 泰仁 (保健医療学研究棟 E508 号) e-mail : sengoku@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(杉浦 真由美)、(石川 奈保子)、(附属総合情報センター司書)		
概要	適切に情報を入手し理解すること、そして、文書を作成することや他者と円滑にコミュニケーションをとることは、講義や演習のほか、臨床実習においても非常に重要な能力である。本講義では、こうした能力を高めるための基本的な知識と技術を身に付ける。とくに、医療系の学生は「生涯学び続ける能力」が求められている。授業では、学び合い教え合うワークを中心として行い、主体的・能動的に学ぶスキルの修得を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学の講義・演習で学ぶために必要なノートテイキング、クリティカルリーディングの方法を学び、ワークで実践できる。 2. 文章作成に必要な知識、技術を身に付け、レポート、手紙、電子メールを適切な文章で作成できる。 3. コミュニケーションを円滑に行うために必要な「話す」「聞く」「考える」の各技能を習得し、演習で実践できる。 4. 大学メールの操作方法、電子データの管理方法、無線 LAN の使い方を学習することによって適切な情報管理方法を理解し、これらを安全に利用できる。 5. 発表資料を作成し、プレゼンテーションおよび質疑応答ができる。 		
関連科目	とくになし		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業・ワークの参加度	20%	授業・ワーク：グループ学習の参加状況、質問や発言の状況 課題：事前学習・事後学習の達成状況 ワークシート・レポート：ワークシート・レポートの内容
	課題	40%	
	ワークシート・レポート	40%	
教科書	指定なし		
参考書	①富永敦子(編)望月俊男、山下清美(監修) [2014] 「大学生のための文章表現ワークブック」 専修大学出版局 ②向後千春 [2016] 「18 歳からの「大人の学び」基礎講座」 北大路書房		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークを中心とした授業となるため、主体性・能動性が必要となります。 ・遅刻はワークに影響を及ぼすため厳禁です。 ・学習の主題・内容・方法、事前学習・事後学習は、学習の進捗状況、受講生の関心に応じて変更することがあります。 		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 授業の内容と学習の進め方、メールの書き方 学ぶスキル：情報リテラシー	授業で提示	講義 ワーク	仙石 (杉浦)
2	リサーチスキル：文献検索	事後課題：文献検索課題	〃	(附属総合 情報セン ター司書)
3	学ぶスキル：学習方略、スケジュール管理	授業で提示	〃	(石川)
4	書くスキル：アイデアの可視化	授業で提示	〃	〃
5	書くスキル：テーマと問い 学ぶスキル：批判的思考	授業で提示	〃	〃
6	書くスキル：パラグラフライティング、三角ロジック(1)	授業で提示	〃	〃

7	書くスキル：パラグラフライティング、三角ロジック(2)	授業で提示	〃	〃
8	書くスキル：レポートの構成と序論の書き方	授業で提示	〃	〃
9	書くスキル：本論と結論の書き方	授業で提示	〃	〃
10	書くスキル：文章の推敲	授業で提示	〃	〃
11	プレゼンテーションスキル：ポスター作成	授業で提示	〃	(杉浦)
12	プレゼンテーションスキル：ポスター発表・質疑応答	授業で提示	発表	〃
13	書くスキル：レポートのブラッシュアップ 社会的スキル：コミュニケーション	授業で提示	講義 ワーク	(石川)
12	社会的スキル：職業と倫理、リーダーシップ	授業で提示	〃	(杉浦)
15	まとめ	授業で提示	〃	(石川)

授業科目	生物学1	1 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	佐々木泰史 (教育研究施設 8F D821 生物学教授室) e-mail : yasushi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(井戸川雅史)		
概要	<p>教養科目としての生物学は、医学、および保健医療学を学ぶための知識基盤として極めて重要である。1 学年前期「生物学1」と1 学年後期「生物学2」では、保健医療学部生が、備えておくべき生物学の教養を網羅する。医学系の専門基礎科目で学ぶこと、あるいは学んだことについて理解を深めることで、生涯学習者としての医療人の学習基盤をつくる。「生物学1」では、生物学の分野のうち、分子生物学、基礎遺伝学を中心とし、医学、医療に直接関連する内容を多くした。今後推進されつつあるゲノム医療についても理解を深める。当大学で積極的に研究が行われているバイオインフォマティクスに関しては、医学部教員が講義を担当する。第1、2 回目の講義では、入試で生物を受験しなかった学生に対するリメディアル科目としての役割も担う。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物の全体像について、生物の定義を含め説明できる。 2. 細胞の構造と機能について分子生物学的に説明できる。 3. さまざまな生物の生きるしくみを説明できる。 4. 遺伝子の働きと遺伝情報がどのように伝えられるか説明できる。 5. 医学、医療における生物学の役割を説明できる。 		
関連科目	生物学2、自然科学実験		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	定期試験	70%	毎回の講義後に小テストを行います。
	小テスト	30%	小テストは期限までにMoodle から提出すること。
			小テストの配分が大きいので、欠席しないよう注意すること。
教科書	①田村隆明 [2016 年] 「医療・看護系のための生物学(改訂版)」 裳華房		
参考書	①Bruce Alberts 他 [2016 年] 「Essential 細胞生物学」 南江堂		
履修上の留意点	<p>成績に占める小テストの配点が高いので、欠席しないよう心掛けて下さい。 講義資料、ハンドアウトはMoodle からダウンロードすることが可能です。 講義の際に、モノクロ印刷のハンドアウトを配付します。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	生物の概要	事前：教科書、配付資料による予習 事後：配付資料による復習、習熟度自己確認テスト	講義	佐々木
2	生物を構成する物質	事前：教科書、配付資料による予習 事後：配付資料による復習、習熟度自己確認テスト	〃	〃
3	ヒトと病原体	事前：教科書、配付資料による予習 事後：配付資料による復習、習熟度自己確認テスト	〃	〃
4	遺伝子のはたらき	事前：教科書、配付資料による予習 事後：配付資料による復習、習熟度自己確認テスト	〃	〃
5	遺伝と疾患	事前：教科書、配付資料による予習 事後：配付資料による復習、習熟度自	〃	〃

		己確認テスト		
6	がんと老化	事前：教科書、配付資料による予習 事後：配付資料による復習、習熟度自己確認テスト	〃	〃
7	ゲノム医療	事前：教科書、配付資料による予習 事後：配付資料による復習、習熟度自己確認テスト	〃	〃
8	生命科学と情報科学(バイオインフォマティクス)	事前：教科書による予習 事後：配付資料による復習、または授業内容を振り返り復習	〃	(井戸川)

授業科目	生物学2	1 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	鈴木健史 (教育研究棟 D826) e-mail : suzukitake@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(幸野貴之)		
概要	本科目の目的は、生物学の考え方を理解し、医学および医療を生物学的視点や進化の視点で考えるための素養を身につけることである。このため、生物の基本的な生存戦略を学んだ上で、無性生殖や有性生殖などの増殖様式や、性の生物学的概念を理解する。また、生態系における生物多様性の重要性について十分に理解した上で、生態系の一部としての「人間」について学ぶ。さらに、生命の起源と進化のしくみを理解した上で、医学や医療を生物学および進化的な観点から考え直す「進化医学」の考え方を学ぶ。		
到達目標	1. 生物の全体像について、生物の定義を含め説明できる。 2. さまざまな生物の生存戦略を説明できる。 3. 生態系について理解し、生態系と地域環境について説明できる。 4. 進化の仕組みを理解し、医学・医療を進化の視点で考える進化医学の概念を説明できる。		
関連科目	生物学1、自然科学実験		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	定期試験	70%	毎回の講義で小テストを行う。小テストの配分が大きいので、欠席しないように注意すること。
	小テスト	30%	
教科書	指定なし		
参考書	①Michael L. Cain 他 [2012] 「ケイン基礎生物学」 東京化学同人		
履修上の留意点	次回分の配付資料を配るので予習をしておくこと。第2回以降の講義では、講義開始時に前回分の講義内容についての小テストを行う。小テストは講義中に数回に分けて行う。成績に占める小テストの配点が高いので、欠席しないよう心掛けて下さい。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	生物の生存様式 (原核生物の生存戦略, 真核生物の生存戦略)	事後: 配付資料による復習. HP の習熟度自己確認テスト	講義	鈴木
2	生物の増殖と性 (性の生物学的概念, 有性生殖, さまざまな生殖様式, 無性生殖, 単為生殖)	事前: 配布資料 事後: 配付資料による復習. HP の習熟度自己確認テスト	〃	鈴木
3	生態系と地球環境 1 (生態系と生物多様性)	事前: 配布資料 事後: 配付資料による復習	〃	幸野
4	生態系と地球環境 2 (環境と人間)	事前: 配布資料 事後: 配付資料による復習	〃	幸野
5	生態系と地球環境 3 (エネルギーと地球環境)	事前: 配布資料 事後: 配付資料による復習	〃	幸野
6	進化 1 (生命の起源, 化学進化, 分子進化)	事前: 配布資料 事後: 配付資料による復習. HP の習熟度自己確認テスト	〃	鈴木
7	進化 2 (真核生物の進化)	事前: 配布資料 事後: 配付資料による復習. HP の習熟度自己確認テスト	〃	鈴木

8	進化2 (性の進化, 進化のしくみ, 進化と医学)	事前：配布資料 事後：配付資料による復習. HP の習熟 度自己確認テスト	”	鈴木
---	------------------------------	---	---	----

授業科目	物理学	1 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		全学科	看護・作業選択 理学必修

科目担当責任者	鷲見紋子 (教育研究棟 C818) e-mail : sumi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	鷲見紋子、高塚伸太郎		
概要	保健医療の専門家を目指す学生のための物理学教育を行う。医療の物理を最初に概観し、人体の物理と診療の物理の基礎となる力学を学ぶ。次いで、熱、波動、音、光、電磁気学を学び、最後に、先進医療に欠かせない放射線治療の基礎となる放射線物理学を学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎：基本単位・組立単位・スカラー量・ベクトル量を具体例を挙げて説明できるようにする、数式とグラフの関係を説明できるようにする、三角関数の基礎を理解する、基本的なベクトルの計算ができる、位置と変位、運動、速度、加速度について説明できる。 2. 力学1：力の単位を知り物体に働く力を図に描ける、重力のはたらき、および質量と重さの違いを説明できる、垂直抗力、摩擦力、ばねの力、圧力、浮力について説明できる。 3. 力学2：力のつり合いを説明できる、慣性の法則を例を挙げて説明できる、運動方程式を用いて基本的な運動の計算ができる、作用反作用の法則を例を挙げて説明できる。 4. 力学3：力のモーメントについて説明できる、物体の重心の位置を計算できる、力のモーメントの計算ができる、力のモーメントから剛体の回転運動とつり合いを説明できる、「3 つのてこ」について説明できる。 5. 力学4：運動量と力積、仕事と仕事率、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギー保存則について説明できる。 6. 温度と熱：気体、液体、固体と温度との関係を原子や分子の運動と関連付けて説明できる、熱の3つの伝わり方を説明できる。 7. 波の運動：波の振幅、周期、振動数、速度の意味とそれらの関係について説明できる、横波と縦波の違いについて説明できる、音の性質について説明できる、光の性質について説明できる。波を表す方法(フーリエ級数展開とフーリエ変換)について学ぶ。 8. 音と光：音の三要素を説明できる、音の性質について説明できる、ドップラー効果について説明できる、光の種類について説明できる、光の強さと距離・光の強さと角度の関係について説明できる。 9. 電磁気学1：原子の基本的な構造について説明できる、静電気力について説明できる、電波について説明できる、静電誘導について説明できる、電位について説明できる、コンデンサーについて説明できる。 10. 電磁気学2：電流を荷電粒子の流れとして説明できる、抵抗の意味とオームの法則について説明できる、直列接続と並列接続の合成抵抗を計算できる、電力・電力量について説明できる、直流と交流の違いについて説明できる。 11. 電磁気学3：磁極と磁気力について説明できる、磁場について説明できる、電流によって発生する磁場について説明できる、電磁誘導について説明できる、モーターの仕組みについて説明できる。 12. 原子と放射線：原子核の構造について説明できる、放射能について説明できる、半減期について説明できる、放射線の単位と特徴について説明できる。 		
関連科目	自然科学実験		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験(定期試験、小テスト)	100%	基本的に、定期試験により評価する。尚、小テストを行い、評価対象にする場合もある。また、授業参加態度が悪い場合は、試験点数から減点する場合がある。
教科書	①望月久、棚橋信雄 [2022] 「PT・OT 臨床につながる物理学」 羊土社		
参考書	①鷲見紋子、大友詔雄 [2020] 「時間感染症学」 北海道大学出版会 ②高塚伸太郎、西村生哉、井上雄介 [2024] 「医療従事者のための基礎物理学」 コロナ社		

履修上の留意点	基本的に、定期試験により評価する。尚、小テストを行い、評価対象にする場合もある。また、授業参加態度が悪い場合は、試験点数から減点する場合がある。
---------	--

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス：保健医療学と物理学	事前：教科書を読む	講義	鷲見
2	力学1：身体運動にはたらく力	事前：教科書を読む 事後：小テストの復習	〃	高塚
3	力学2：物を持ったときの力のつり合い	〃	〃	〃
4	力学3：物体の変形、骨の破壊	〃	〃	〃
5	力学4：流体力学と血液	〃	〃	鷲見
6	温度と熱：体温とサーモグラフィ	〃	〃	〃
7	波の運動1：脳波、心電図、脈波、血圧	〃	〃	〃
8	波の運動2：波を表す方法 ーフーリエ級数展開とフーリエ変換ー	〃	〃	〃
9	音と光：超音波診断とレーザーメス	〃	〃	〃
10	電磁気1：電気のエネルギー	〃	〃	高塚
11	電磁気2：感電では何が起きているか	〃	〃	〃
12	電磁気3：電気はどうやって作られているか	〃	〃	〃
13	原子：放射線医学の理解に向けて	〃	〃	鷲見
14	放射線：外部被ばくと内部被ばく	〃	〃	〃
15	物理と生命：複雑系と自己組織化	〃	〃	〃

授業科目	化学1	1 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	有木茂 (教育研究棟 D827) e-mail : sarikscb@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	白土明子		
概要	化学1では、生命現象を理解するために必要となる化学の基本的事項として、原子の構造、化学結合、物質の状態、浸透圧、緩衝作用、酸化還元反応について学ぶ。また、我々の体を構成する基本分子である水・アミノ酸・糖・脂質・ヌクレオチドに焦点を置き、これらの物質の構造と基本的性質を理解し、これらの物質が生体の中でどのような役割を果たしているのかを学ぶ。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原子の構造と化学結合を理解し、分子の成立ちを説明できる。 2. 酸・塩基、緩衝作用、浸透圧について理解し、これらが生体の恒常性維持にどのように関わるかを説明できる。 3. 酸化還元反応を説明できる。 4. 生体を構成する基本分子の性質について、構造と機能の基礎が説明できる。 		
関連科目	生物学1 生物学2 物理学 化学2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	定期試験	100%	
教科書	①齋藤勝裕 他 [第1版(2022年11月改訂)] 「コ・メディカル化学—医療・看護系のための基礎化学—(改訂版)」 裳華房		
参考書	①白戸・小川・鈴木 [2020年・2000円] 「ていねいな化学(リメディアル、高校と大学の生命の化学をつなぐ学び)」 羊土社		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	原子の構造, 化学結合と分子	事前: 教科書1~4章の予習 事後: 授業プリントの復習, 演習問題	講義	白土
2	物質の量と状態, 浸透圧とからだの恒常性	事前: 教科書5~6章の予習 事後: 授業プリントの復習, 演習問題	〃	〃
3	酸・塩基, 緩衝作用とからだの恒常性 酸化還元反応	事前: 教科書7章の予習 事後: 授業プリントの復習, 演習問題	〃	〃
4	糖の構造と生体内での役割	事前: 教科書12章の予習 事後: 授業プリントの復習, 演習問題	〃	有木
5	脂質の構造と生体内での役割	事前: 教科書12章の予習 事後: 授業プリントの復習, 演習問題	〃	〃
6	タンパク質の構造と生体内での役割	事前: 教科書13章の予習 事後: 授業プリントの復習, 演習問題	〃	〃
7	ヌクレオチドの構造と生体内での役割	事前: 教科書14章の予習 事後: 授業プリントの復習, 演習問題	〃	〃
8	ビタミン, 微量元素, 酵素について	事前: 第6回講義の復習 事後: 授業プリントの復習, 演習問題	〃	〃

授業科目	化学2	1 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	白土 明子 (教育研究棟 II 828 号) e-mail : ashira@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	有木 茂		
概要	生体内では多数の化学反応が同時に行われ、これらが正常かつ適切に連携することで生体恒常性が保たれており、その破綻は疾患に繋がる。本講義では、まず、生体内の化学反応の概要を、分子の構造と機能に基づいて説明がなされる。つづいて、生体内の主要な代謝経路である、糖、脂質、アミノ酸、ヌクレオチドについて、代謝機構の概要を教授し、それぞれの代謝と疾患との関係について解説を加える。また、高分子化合物の構造と機能を、疾患および医療への利用の観点から解説する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 分子の構造と機能に基づいて生体内化学反応を分類し、説明できる。 2. 糖の代謝機構の概要を説明できる。 3. 脂質の代謝機構の概要を説明できる。 4. アミノ酸の代謝機構の概要を説明できる。 5. ヌクレオチドの代謝機構の概要を説明できる。 6. 上記4種類の生体分子について、代謝に関連する疾患名を挙げて、病気の成り立ちとの関係を説明できる。 7. 医療に関連する高分子について、構造と機能を説明し、疾患との関係や医療への利用の具体例を説明できる。 		
関連科目	化学1, 生物学1, 2, 物理学1, 2, 栄養生化学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	定期試験	50%	講義内容に関連した課題を行います。
	課題・確認テスト	50%	
教科書	①齋藤勝裕 他 [[改定] 第1版(2022年)・2,400円] 「コ・メディカル化学(改訂版)-医療・看護系のための基礎化学-」 裳華房		
参考書	①白戸・小川・鈴木 [2020年・2,000円] 「「ていねいな化学」(リメディアル、高校と大学の生命の化学をつなぐ学び)」 羊土社 ②坂本順司 [2014年・1,600円] 「「ワークブックで学ぶヒトの生化学」(自習のできる演習書)」 裳華房		
履修上の留意点	化学1を履修していないものには、予習用に講義資料を配布するので担当教員に申し出ること。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	生体内の化学反応の概要 ～化学結合と生体内環境での分子の構造と機能～	事前：教科書1-4章の予習, 化学1の復習 事後：ハンドアウトの復習, 課題	講義	白土
2	糖の代謝1 ～グルコースの異化とエネルギー産生～	事前：化学1の復習 事後：ハンドアウトの復習, 課題	〃	有木
3	糖の代謝2 ～グリコーゲン代謝, 糖新生, ペントースリン酸経路～	事前：化学1の復習 事後：ハンドアウトの復習, 課題	〃	〃
4	脂質の代謝 ～脂肪酸の合成とβ酸化～	事前：化学1の復習 事後：ハンドアウトの復習, 課題	〃	〃
5	アミノ酸の代謝1 ～アミノ酸の生合成と異化～	事前：化学1の復習 事後：ハンドアウトの復習, 課題	〃	〃

6	アミノ酸の代謝2 ～アミノ酸に由来する生理活性物質, 尿素サイクル～	事前：化学1の復習 事後：ハンドアウトの復習, 課題	〃	〃
7	ヌクレオチドの代謝 ～ヌクレオチドの生合成と異化～	事前：化学1の復習 事後：ハンドアウトの復習, 課題	〃	〃
8	高分子化合物 ～高分子化合物や機能性高分子の生活・医療への利用～	事前：教科書10, 11章の予習 事後：ハンドアウトの復習, 課題	〃	白土

授業科目	自然科学実験	1 学年・後期・1 単位 (45 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	鈴木健史 (教育研究棟 D826) e-mail : suzukitake@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	鈴木健史、有木茂、高塚伸太郎、佐々木泰史、平山(白土)明子、鷺見紋子		
概要	物理学、生物学、化学における基礎的実験を通し、自然科学実験の方法、実験結果の整理の仕方を学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対数グラフの使い方や 測定値には必ず実験誤差があることを理解し身につける。 2. 講義で聞いた理論が実際に実験の中で起こることを確認する(自分の目で確かめる)。 3. 正しい結果を得るための方法や器具・機器・試薬の取り扱いを正しく行うことが出来るようになる。 		
関連科目	物理学、生物学1、生物学2、化学1、化学2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	レポート	100%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>全体ガイダンスでは、生物・物理・化学それぞれの実験内容を概説するとともに、実験上の注意点、これまでに講義してきた内容との関連性、実験を行う上で必要な基礎知識などの講義を行う。また物理のテキストを配布する。</p> <p>履修する学生は初回の「全体ガイダンス」に必ず出席すること。</p> <p>第2回以降の実験準備に支障を来すため、全体ガイダンスに参加していない学生は履修を認めない。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	全体ガイダンス 実験のための基礎知識 (履修希望者は参加必須です)	特になし	ガイダンス 講義	鈴木・有木・高塚・佐々木・平山(白土)・鷺見
2	1-1. 物理量の基本測定と数値の扱い フィルタの原理	事前：テキストを読む 事後：レポートの作成	実験	高塚・鷺見
3	1-2. 心電波形の取得	〃	〃	〃
4	1-3. プログラムによる心電波形解析	〃	〃	〃
5	2-1. 顕微鏡の使い方：組織標本の観察	事前：配布プリントを読む 事後：観察スケッチ・レポートの提出	実験	鈴木・佐々木
6	2-2. DNA の抽出と分析	〃	〃	〃
7	2-3. 哺乳動物の解剖：マウスの解剖と臓器の観察 または、 血液塗抹標本の作製と観察：血球の分類観察	〃	〃	〃
28	3-1. ピペット操作と秤量 pH の測定と緩衝液の緩衝作用	事前：テキストを読み、予習課題を行う	実験	有木・平山(白)

		事後：実習レポートを作成し、課題を行う		土)
39	3-2. 薄層クロマトグラフィーによる脂質の分離・同定	〃	〃	〃
10	3-3. 光学測定の基本：生体分子の吸収スペクトル 呈色反応を利用した酵素反応速度の解析	〃	〃	〃

授業科目	心理学概論	1 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		全教科	選択

科目担当責任者	高橋義信 (教育研究棟 IC809 号) e-mail : yoshi@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	加藤有一、橋本恵理		
概要	心理学は、「経験と行動の科学である」と言われています。心理学を学んだことのない人にとって、この言葉が意味する内容は、皆目見当のつかないことかもしれません。いわゆる面白心理学は、学問的な心理学とは似て非なるものです。本講義では、この点を強調しながら、心理学の何たるかを多面的に論じます。とくに、心理学の基礎全般と医学への応用が重要です。本講義を通して、心理学の基礎を理解すること、また、医学と心理学のつながりに理解の深まることを望みます。また、本講義は医学部と保健医療学部の共通合同講義となっています。		
到達目標	心理学の基本概念と方法論を学習し、こころの世界を説明、解釈するための基礎知識を獲得する。 1. 科学的な心理学の方法論を説明できる。 2. 知覚・認知の諸概念を説明できる。 3. 動機づけと情動の基本概念を説明できる。 4. 人格と知能の諸概念を説明できる。 5. 記憶と思考の原理を説明できる。 6. 心理学の医療への応用として、条件づけ、認知行動療法を説明できる。		
関連科目	心理学演習		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	レポート	90%	講義の際のレスポンスシートとレポート課題で評価する。
	提出物	10%	
教科書	指定なし		
参考書	①スザンヌ・コーキン [2014 年] 「僕は物覚えが悪い」 早川書房 ②キース・スタノヴィッチ [2008 年] 「心は遺伝子の論理で決まるのか」 みすず書房		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	心理学とは? : ガイダンス/心理学とは	事後 : 配布資料の確認	講義	高橋
2	行動の生物学的基礎 : 心理・行動の脳内基礎課程の概説	〃	〃	加藤
3	知覚・認知 : 知覚の“見える”と認知の“見る”の違い	〃	〃	〃
4	注意 : 注意の類型とヒューマンエラー	〃	〃	〃
5	意識 : 覚醒・アウェアネス・メタ認知と睡眠	〃	〃	〃
6	学習 : 条件付けと社会的学習	〃	〃	高橋

7	記憶1：記憶の3つのシステム	〃	〃	〃
8	記憶2：忘れる、思い出すとはどのようなことか？	〃	〃	〃
9	知能：知能の個人差と発達、遺伝と環境	〃	〃	〃
10	思考1：人間の思考の特徴—2重過程モデルから	〃	〃	〃
11	思考2：原因帰属—人間は何に原因を求めるか	〃	〃	〃
12	動機付けと情動：動機付けとは何か、情動とは何か、その主なものはなにか。	〃	〃	〃
13	パーソナリティ：パーソナリティとは・パーソナリティの測定	〃	〃	〃
14	臨床心理学1：心の健康とは	〃	〃	〃
15	臨床心理学2：心理臨床の現場	〃	〃	橋本

授業科目	心理学演習	1 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	高橋義信 (教育研究棟 IC809 号) e-mail : yoshi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	「心理学概論」で触れた心理実験を実際に行うことにより、心理学に対する理解をさらに深めるとともに、簡単な心理学実験の方法を修得する。また、心理テストを行い、心理テストの効用と限界を理解し、結果の数量的処理の仕方と解釈を学ぶ。		
到達目標	1. 初歩的な心理学実験ができる。 2. 生理学的手法、質問紙法などの心理測定ができる。 3. 実験結果の数量的解析ができる。		
関連科目	心理学概論、教育学		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	提出物	50%	
	演習課題達成度	50%	
教科書	指定なし		
参考書	①西本剛彦ほか [2000 年] 「認知心理学ワークショップ」 早稲田大学出版部		
履修上の留意点	すべての演習に参加できる人の履修を望みます。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	科目の説明と次回以降に使用するデータの収集。	事後—配布資料のまとめを行う	演習	高橋
2	科目の説明と次回以降に使用するデータの収集。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
3	トランプを使ったゲームによって要求水準とは何か、その個人差を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
4	トランプを使ったゲームによって要求水準とは何か、その個人差を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
5	性格検査を行い、解釈する仕方を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
6	性格検査を行い、解釈する仕方を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
7	心理尺度を作成し、予備的データの収集	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
8	心理尺度を作成し、予備的データの収集	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
9	作成した心理尺度の信頼性を統計的に分析する。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
10	作成した心理尺度の信頼性を統計的に分析する。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃

11	協力ゲームを行う。協力の困難性や協力が生じる条件を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
12	協力ゲームを行う。協力の困難性や協力が生じる条件を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
13	個人の意思決定と集団の意思決定はどちらが優れているのか。ゲームによって学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
14	個人の意思決定と集団の意思決定はどちらが優れているのか。ゲームによって学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
15	聴覚的記憶と視覚的記憶の実験を行う。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃

授業科目	倫理と哲学	1～2 学年・後期・2 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	船木 祝 (教育研究棟 IC703 号) e-mail : s.funaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	<p>近年、医科学や医学的治療はめざましい進歩をする一方で、患者は幸福を願って、よい治療を求める心の問題を抱えている。こうした人々が期待する恩恵と同時に、直面する問題点を理解するために、まず、医療倫理の歴史を学び、次に、不治の病、延命、不妊治療をめぐる日本および世界の動向を学ぶ。また、話題になっている医療記事を取り上げ、倫理的問題点を指摘し、海外と日本の現状を比較する。</p> <p>患者の多様な人間観、生命観、死生観を深く理解できるように、古今の哲学思想家たちの人間、生命、死についての考え方を学ぶ。また、近代以降発達した科学技術、そして人間性、さらにはケアの思想についての哲学思想家の考えを学ぶ。</p> <p>各人は自分の意見を持つだけでなく、グループ討論をする中で、多様な意見に触れ、多角的な思考能力を身につける。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療倫理の歴史について説明できる。 2. 話題になっている医療記事における倫理的問題を説明できる。 3. 安楽死、尊厳死をめぐる海外と日本の現状を比較し、課題の発見、解決方法の提案をすることができる。 4. 生殖補助医療をめぐる海外と日本の現状を比較し、課題の発見、解決方法の提案をすることができる。 5. 人間の知識、幸福、愛、悪、自由、技術、人間性といったテーマについての哲学思想家の考えを説明できる。 6. 様々な価値観と突き合わせ、自分の考えを修正・拡張できる。 7. 多様な人間観、生命観、死生観を理解し、患者及び家族との良好なコミュニケーションをすることができる。 		
関連科目	看護倫理、法学と日本国憲法		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	筆記試験	70%	その他：授業中に行うグループ討論への参加状況、及び小レポート
	その他	30%	
教科書	①村松聡・松島哲久・盛永審一郎 [2016 年・2,600 円] 「教養としての生命倫理」 丸善出版		
参考書	①盛永審一郎・長島隆 [2013 年・2,600 円] 「看護学生のための生命倫理」 丸善出版 ②関東医学哲学・倫理学会 [2013 年・2,600 円] 「新版医療倫理 Q&A 」 太陽出版 ③船木祝 [2020 年・2,000 円] 「響き合う哲学と医療」 中西出版		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、プリントを配布する。 ・生命倫理に関するメディアの情報に関心を持つ。 ・紹介された図書に目を通す。 		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	生命倫理が創始された背景	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	講義	船木
2	伝統的倫理学との違い	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
3	安楽死をめぐる国際的議論	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃

4	尊厳ある死とは何か	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
5	緩和ケアにおける諸問題	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
6	人工妊娠中絶と体外受精をめぐる問題の概観	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
7	代理出産をめぐる諸問題	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
8	ゲノム解析と着床前診断	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
9	医療安全と哲学	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
10	家族等の死と哲学	事前：教科書の該当箇所を読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
11	ベーコンの科学技術についての考え方	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
12	カントの「自律」の思想	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
13	ベンサムとミルの功利主義	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
14	マルティン・ブーバーの「対話の哲学」	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃
15	コールバーグの「人間性の発達」とギリガンの「ケアの思想」	事前：予習プリントを読む 事後：配付資料等をもとに、講義の内容を整理する	〃	〃

授業科目	教育学	2 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	高橋義信 (教育研究棟 I C809 号) e-mail : yoshi@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	南 紅玉		
概要	本講義では、教育学に関する全般的な理論や歴史を学び、今日の教育が直面する現代的諸課題を理解することを目的にする。受講者は自分が受けてきた教育を相対化することで、自らの教育的関心や基盤を知り、それを教育の諸理論に結びつけて考える。		
到達目標	1. 現代日本の教育の特質や課題を自分の教育経験を基礎に説明できる。 2. 諸外国と比較した場合の日本の教育の特徴を説明できる。 3. いじめ等問題行動の理解と児童生徒への対応について説明できる。 4. 現代日本における教育問題の原因やその解決策について自分なりの意見を表明できる。		
関連科目	心理学概論、人間発達学 1		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	提出物	50%	
	レポート	50%	
教科書	指定なし		
参考書	①佐藤環編 [2013 年] 「日本の教育史」 あいり出版 ②相澤伸幸 [2015 年] 「教育学の基礎と展開」 ナカニシヤ出版 ③藤田英典 [2006 年] 「教育改革のゆくえー格差社会か共生社会か」 岩波書店		
履修上の留意点	各教員のそれぞれの授業の 3 分の 2 以上出席すること		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	この科目の説明 教育学とは、どのような学問か	事前：シラバスを読む 事後：資料を精読する。	講義	高橋
2	なぜ人間には教育が必要か？	事前：参考書の該当箇所を読む 事後：資料を精読する。	〃	南
3	国の教育政策と学習指導要領の変遷	〃	〃	〃
4	教育法規と教員の義務	〃	〃	〃
5	学校とはどんな場所か？	〃	〃	〃
6	「学力」論争と「学力」論	〃	〃	〃
7	生徒指導と進路指導	〃	〃	〃
8	学校のカタチはひとつだけなのか？	〃	〃	〃

9	子供の成長・発達とその問題	〃	〃	〃
10	家庭教育・地域教育・生涯教育	〃	〃	〃
11	教育に関してどのようなことが裁判で争われてきたか。いじめと学校事故を中心に。	〃	〃	高橋
12	教育に関してどのようなことが裁判で争われてきたか。奨学金の返還や部活動経費の返還など経済問題を中心に。	〃	〃	〃
13	高学歴だとなぜ給料が高いのか？日本の教育費は他の国と比べると高いのか。教育費はだれが負担すべきか。	〃	〃	〃
14	教育格差。どのような家庭に生まれるかによって、将来の学歴はどの程度影響されるか？	〃	〃	〃
15	教育に関する実験的研究。教育は実験的研究があまり行われていない分野であるが、これまでにどのような研究が行われ、何を見出したのかを紹介する。	〃	〃	〃

授業科目	社会学概論	1 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	桜木真理子 (教育研究棟 C705) e-mail : marikosakuragi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	現代の保健医療の領域において必要な社会学の基礎的知識と探究方法について学ぶ。「人間の行為」「社会の秩序」「社会の構想」という3つの理論的領域に分けて、社会学の基本を理解する。個人のふるまいや思考を水路づけている社会の働きについて多様な事例と方法的アプローチを使って包括的に理解する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の保健医療の領域において必要不可欠な社会学の基礎的知識と探究方法を説明できる。 2. 社会学の主要な理論的領域に分けて、社会学の基本を説明できる。 3. 多様な事例と方法的アプローチを使って個人と社会の相関について包括的に説明できる。 4. 現代社会の諸問題を社会的に解明し、その解決方法を説明できる。 5. 社会学の視点と方法を用いて、自ら関心のある社会現象を説明できる。 		
関連科目	文化人類学、ジェンダー論		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業への参加度・コメントシート	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や発言の状況 ・グループ討議への積極的な態度
	グループ・ワーク	20%	
	期末レポート	50%	
教科書	①友枝敏雄、竹沢尚一郎、正村俊之、坂本佳鶴恵 (2019)『社会学のエッセンス：世の中のしくみを見ぬく』(新版補訂版) 有斐閣		
参考書	①本田由紀 (2015)『現代社会論：社会学で探る私たちの生き方』 有斐閣ストゥディア		
履修上の留意点	コメントシートと期末レポートは必ず提出してください。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	「社会学」の概観と社会調査	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	講義	桜木
2	社会のなかのわたし：相互行為による関係の生成・アイデンティティ	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
3	家族：家族関係の変容	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
4	教育：学歴社会と文化的再生産	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
5	労働：非正規雇用と若者の就職問題	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃

6	階層と階級：格差と社会的排除	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
7	規範と制度	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
8	ジェンダーとセクシャリティ：フェミニズムとLGBT	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
9	スティグマ・社会的排除	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
10	グローバリゼーション：トランスナショナリズムとエスニシティ	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
11	メディアとコミュニケーション：情報社会の光と影	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
12	宗教：宗教の社会貢献	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
13	少子高齢社会：子育て支援と高齢者介護	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
14	市民社会：民主主義のいま	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃
15	全体のまとめ	事前：教科書を読む。 事後：課題に取り組む。	〃	〃

授業科目	法学と日本国憲法	1 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	旗手 俊彦 (教育研究棟 I C716) e-mail : hatate@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	1. 日本国憲法の意義、歴史について取り扱う。 2. 日本国憲法の基本的な人権保障と統治機構に関する現代的論点を取り扱う。 3. 人間のライフステージに沿った法律の仕組みと法的問題点を取り扱う。 4. 医療・福祉に関する法律の他、各種ガイドラインの制定趣旨、拘束力、現代的課題を取り扱う。		
到達目標	1. 日本国憲法の意義と基本的な仕組みを説明できる。 2. 憲法改正問題や現代政治の主要な問題について、新聞の論説記事を理解し、自分なりのコメントを加えられる程度の知識を習得する。 3. 人間のライフステージに沿って関連する法律とその基本的仕組み、問題点を説明できる。 4. 今日の新しい人権問題である各種ハラスメントの内容とそれへの対処方法を説明できる。 5. 各種虐待に対する医療者、市民としての対応について説明できる。		
関連科目	老年看護学概論、小児看護学概論、認知症ケア、社会福祉学、保健福祉行政論		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	定期試験	100%	上記到達目標のすべてに関して、多肢選択方式と論述問題からなる定期試験にて評価する。定期試験の得点が 60%に満たない履修生に関しては、追加レポート課題を科する。追加レポート課題の得点が 60%に満たない履修生は、最終的に不合格とする。
教科書	指定なし		
参考書	①ポケット六法 令和6年版 [2023年] 「佐伯仁志、大村敦志」 有斐閣 ②法の世界へ(第9版) [2023年] 「池田真朗、犬伏由子、野川忍」 有斐閣		
履修上の留意点	教科書は指定しませんが、毎回資料を Moodle で配布します。この資料が教科書代わりとなりますので、各自ダウンロードして大切に保管して下さい。履修者の希望があれば、資料の紙媒体での配布にも対応します。配布資料には、時間の関係で講義では取り上げきれない追加的内容も含まれます。定期試験では、配布資料全体が出題範囲となりますので、資料全体を精読して下さい。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	法学と日本国憲法総論、憲法と法律の種類と体系、新しい法的規範としての各種ガイドライン	事前学習：特になし 事後学習：資料の復習	講義	旗手
2	日本国憲法総論、日本国憲法の基本理念、憲法保障と憲法変動、憲法改正問題	事前学習：自民党のHPを閲覧する 事後学習：資料の復習	〃	〃
3	日本国憲法の恒久平和主義と安全保障、憲法第9条の解釈の変遷と判例、国際政治と安全保障の現代的傾向、平時国際法と戦時国際法、国際人道法	事前学習：関連報道を読む 事後学習：資料の復習	〃	〃
4	基本的人権の基礎理論と現代の問題、基本的人権の体系と種類、基本的人権の司法的救済、人権規定の私人間効力、現代的人権問題としての各種ハラスメント	事前学習：関連報道を読む 事後学習：資料の復習	〃	〃
5	民主主義の基本的価値、民主主義と選挙制度、民主主義の現代的問題：報道、世論、ポピュリズム、普遍主義と一国主義/ナショナリズム	事前学習：米国大統領選挙の関連記事を読む 事後学習：資料の復習	〃	〃
6	親子の法律関係、戸籍の仕組み、親族・親等、法律上の「子」の類型、法律上の「父」、「母」の決定方法、家族・親族の法	事前学習：関連報道を読む 事後学習：資料の復習	〃	〃

	的義務、			
7	人間の出生と法、不妊治療と生殖補助医療、生殖補助医療/代理懐胎をめぐる法的規制と学会動向、生殖補助医療親子関係特例法の概要	事前学習：関連報道を読む 事後学習：資料の復習	〃	〃
8	性と法、性同一性障害(性別不一致)をめぐる医療と法、LGBT理解増進法の内容と課題、ストーカー・SNSをめぐる性被害とその法的対応	事前学習：関連報道を読む 事後学習：資料の復習	〃	〃
9	家族と法、夫婦の法律関係：婚姻、離婚、姓、異性婚と同性婚(カップル)制度、DV防止法の概要と医療者の対応	事前学習：関連報道を読む 事後報道：資料の復習	〃	〃
10	児童・未成年を保護する法律の仕組み、児童/未成年/少年の定義、児童虐待の種類と対応、児童相談所の役割、児童虐待と医療、単独親権と共同親権	事前学習：関連報道を読む 事後学習：資料の復習	〃	〃
11	教育関係法規の種類と体系、いじめ防止対策推進法の概要、いじめ・不登校等「重大事態」の定義と対応・問題点、新しい問題としての「指導死」	事前学習：関連報道を読む 事後学習：資料の復習	〃	〃
12	高齢者に関する法の全体像、高齢者虐待防止法の概要、高齢者虐待に対する医療者の対応、地域包括ケアシステムと地域包括支援センターの役割	事前学習：広報さっぽろを読む 事後学習：資料の復習	〃	〃
13	判断能力の低下/認知症と法、認知症基本法の概要、認知症を支える専門資格、認知症の医療体制、成年後見制度の概要と問題点	事前学習：関連報道を読む 事後学習：資料の復習	〃	〃
14	人生の最終段階における医療と法、終末期医療に関する各種ガイドライン、ACP：「人生会議」、遺言の種類と利用方法、相続に関する基本知識、近年の相続法改正の概要	事前学習：関連学会のHPを閲覧する 事後学習：資料の復習	〃	〃
15	まとめと復習	事前学習：資料の整理 事後学習：復習ペーパーの作成	〃	〃

授業科目	ジェンダー論	1 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	佐々木香織 (教育研究施設 IC708 号) e-mail : kaorisasaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	佐々木香織		
概要	ジェンダーは現代社会における医療・ケアを実践する際に留意すべき概念です。なぜなら人のウェル・ビーイングにも密接にかかわっているばかりか、よりよい医療従事者の労働と労働環境を考える上でも、避けて通れない概念だからです。その視点から授業を展開します。具体的には近代社会の成立に伴い、どのようにジェンダー・性・セクシャリティの概念が構築され、その概念が制度・システムに内包して、私たちの暮らし・生活に内在しているかを学びます。理解が深まった上でジェンダーに起因する、①様々な社会的な課題(e.g. LGBT への差別)そして、②医療従事者が直面する問題(e.g. 看護師・作業療法士の感情労働、理学療法士への性別役割期待)を議論します。また、授業中の議論やペア・ワーク、事後学習の小課題(宿題)を通じて、社会や文化に対する思考力と洞察力を鍛えます。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちが生きている社会が「ジェンダー」を組み込んで形成したシステムであることを理解したうえで、性差を語る枠組みであるジェンダーとセックスの違いを説明できる 2. ジェンダーの視座から社会事象(特に恋愛と性、生殖、家族、教育、労働)について説明ができる 3. ジェンダーにおけるアイデンティティポリティクスの状況(特にLGBT)を説明できる 4. 自分自身の「ジェンダー」について、俯瞰した眼で見ることができるようになる(気づき・自覚) 		
関連科目	社会学概論、文化人類学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業への参加	15%	教科書の内容をふまえ、発展的に考えていく力をみまます
	小課題(宿題)	30%	宿題での学び・気づき・質問などをする力を見まます
	レポート	55%	レポートはジェンダーと社会・文化を俯瞰の視座と「自分ごと」としてみる視座を、上手く統合して分析する力を見まます
教科書	①加藤 秀一 [2017 年 04 月・1,800 円] 「はじめてのジェンダー論」 有斐閣		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> ①姫野カオルコ [2021 年 4 月・957 円] 「彼女は頭が悪いから」 文春文庫 ②瀬谷山角 [2020 年 5 月・902 円 Kindle 版] 「炎上 CM で読み解くジェンダー論」 光文社新書 ③小倉千加子 [2014 年 5 月・1210 円] 「赤毛のアンの秘密」 岩波現代文庫 ④斎藤美奈子 [2003 年 12 月・400 円] 「モダンガール論」 文春文庫 ⑤森山至貴 [2017 年 3 月・880 円] 「LGBT を読みとく クィア・スタディーズ入門」 ちくま新書 ⑥キム・ジヘ [2021 年 8 月・1760 円] 「差別はたいてい悪意のない人がする」 大月書店 ⑦山田昌弘 [2016 年 11 月・836 円] 「モテる構造— 男と女の社会学」 ちくま新書 ⑧上野 千鶴子, 富岡 多恵子, 小倉 千加子 [1997 年 9 月・1100 円] 「男流文学論」 ちくま文庫 ⑨周燕飛 [2019 年 7 月 1320 円] 「貧困専業主婦」 新潮選書 		
履修上の留意点	<p>社会学と Cultural Studies の知見を使い「ジェンダーと私たち」を考えます。したがって身近な問題を扱います。授業で「教科書」は使います。しかし「参考書」は授業に必要ではありません。小説や新書や選書や文庫のエッセイという形で、日常の中にジェンダーの概念がずりりと入り込んでいるのを気が付かせてくれる内容で、読みやすいものを選びました。興味があれば読んでみてください。</p> <p>なお本授業は、今メディアで触れられるような「ジェンダー格差」の「問題」の「解決」を考えるのではなく、私たちが生きている社会と経済の「仕組み」や「構造」を理解し、その上で私たちの「社会関係」(社会と経済によって一般的/常識的に構築されていく人間関係)について把握を試みます。そのような土台を築いたところで、どのように現在のジェンダーに関連する医療/看護/福祉の現場の問題を考えてみたり、メディアを賑わせるようなジェンダーに関連する社会/政治問題へと発展していったのだろうか、疑問を持ちながら、自分で探究してみることに力点があります。学習の主題・内容・方法は、受講生の関心に応じて変更することがあります。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
-----	-----	---------	----	------

1	ジェンダーと近代的自己の形成 —私たちの社会における男らしさ、女らしさ	事前 教科書 1-2 章を読む 事後 小課題・宿題を行う	講義・議論	佐々木香織
2	私たちが生きる近代社会の成立と近代家族 —性別役割分業の背景を学ぶ	事前 教科書 5 章を読む 事後 小課題・宿題を行う	〃	〃
3	私たちが生きる近代社会と教育制度 —性別役割の構築と内面化	事前 教科書 6-7 章を読む 事後 小課題・宿題を行う	〃	〃
4	私たちが生きる近代社会・資本主義制度と私たちの労働 —性別役割分業と感情労働の発展	事前 教科書 11-12 章を読む 事後 小課題・宿題を行う	〃	〃
5	ジェンダーと性 —私たちが生きる近代社会における性自認、アイデンティティポリティクスと LGBT	事前 教科書 3-4 章を読む 事後 小課題・宿題を行う	〃	〃
6	私たちが生きる近代社会における自我(アイデンティティ)と性(性的)身体 —美少女・萌え漫画と BL 漫画の流行から	事前 教科書 8 章を読む 事後 小課題・宿題を行う	〃	〃
7	私たちが生きる近代社会と恋愛、性、そして DV —ロマンティック・ラブにおける権力性から性暴力へ	事前 教科書 9-10 章を読む 事後 小課題・宿題を行う	〃	〃
8	私たちが生きる近代社会における国家と私たちの身体と性と生殖(新しい生殖医療技術を含めて)	事前 教科書 13 章を読む 事後 小課題・宿題を行う	〃	〃

授業科目	文化人類学	2 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	桜木真理子 (教育研究棟 C705) e-mail : marikosakuragi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	日常生活における「文化」の諸相を理解し、自分とは異なるさまざまな文化をもつ「他者」を理解するための基本を習得する。他者理解を異文化理解に発展させ、人間社会の多様性を尊重するための基本姿勢や態度を身につける。知識や態度の習得だけではなく、クラスメイトとのディスカッションやグループ・ワーク、リフレクションを通じて洞察力を鍛える。医療人類学の基本的視点と方法論を学ぶ。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 日常生活における文化的な現象を理解し、それについて述べることができる。 日常生活における「文化」とはなにかを説明できる。 「他者理解」の方法を用いて他者と自己について説明できる。 「異文化理解」の方法を用いて異文化と自文化を説明できる。 医療人類学の基本を説明することができる。 		
関連科目	社会学概論、ジェンダー論		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業への参加態度・コメントシート	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論参加状況 ・ 質問や発言の状況 ・ グループ討議への積極的な態度
	グループ・ワーク	20%	
	期末レポート	50%	
教科書	①波平恵美子 編著 [2020 年] 「文化人類学 [カレッジ版] (第四版)」 医学書院		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習として、授業中に指定された教科書の該当部分を読んでくるようにしてください。 ・ コメントシート、期末レポートは必ず提出してください。 		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	他者を知り自分を知る すべての文化にはそれなりの価値がある	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	オリエン テーショ ン 講義・議論	桜木
2	文化としての性と生殖 社会集団と個人	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃
3	時の流れと人生の節目 大人になること	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃
4	信仰と人間存在の意味 分類して世界を認識すること	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃
5	病いがしめすもの 病人になることと治すこと	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃
6	人の死生観 死体処理からみる人の死	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃

7	医療人類学の基礎: グローバルヘルス	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃
8	医療人類学の応用: 臨床と地域医療	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃

授業科目	国際関係論	1～2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択必修

科目担当責任者	(池見真由) (一) e-mail : ー	非常勤講師 連絡担当教員	佐々木泰史 (教育研究棟 8F 生物学教授室) e-mail : yasushi@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	現代の世界は、グローバル化が進展し、国境を越えた人・モノ・カネ・情報の流れが急激に増加・加速している。こうしたグローバル社会における保健医療専門職は、地球規模で人々の健康の維持と向上に貢献することが求められ、国籍や人種が多様な対象者の政治・経済・文化的な背景を理解しておく必要がある。本科目では、第1に国際社会の仕組み・特徴や歴史的発展について、第2に日本と特に関係の深い国・地域の政治・経済・文化的な背景や日本との関係について学ぶ。これにより、グローバル社会における複雑な政治経済情勢や地球規模の諸課題を多角的な視点から理解することを目的とする。		
到達目標	1. 国際的な政治・経済に関するニュースや地球規模の諸課題について、その背景や意味を説明できる。 2. 国際的な政治・経済に関するニュースや地球規模の諸課題について、自分の意見を持ち発表する。 3. 国籍や人種が異なる多様な人々の政治・経済・文化的背景を説明できる。		
関連科目	国際協力論、社会学概論、文化人類学、国際保健医療・看護		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業中の学習状況	50%	授業中の学習状況は、発言、質問、および授業後に提出するコメントシートの内容を評価対象とする。
	レポート	50%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	国際社会の仕組み・成り立ち 国内社会と国際社会の違い 国際社会を見る視点・理論的枠組み	事後：授業内容を振り返り復習	講義	(池見)
2	国際社会の歴史 国民国家の成立、二度の世界大戦、冷戦、テロとの戦い 国際社会からグローバル社会へ	事前：指示された資料を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
3	国際社会の抱える諸問題	事前：指示された資料を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
4	国際社会が直面する新たな諸課題	事前：指示された資料を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
5	国際社会と保健医療・衛生・感染症	事前：指示された資料を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
6	国際社会と日本・北海道の関わり	事前：指示された資料を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
7	時事問題・ケーススタディ	事前：指示された資料を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
8	まとめ	事前：指示された資料を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃

授業科目	国際協力論	1～2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択必修

科目担当責任者	(池見真由) (一) e-mail : ー	非常勤講師 連絡担当教員	佐々木泰史 (教育研究棟 8F 生物学教授室) e-mail : yasushi@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	現代の世界において、開発途上国は国の数で約4分の3、人口で3分の2以上を占めている。その多くは紛争や貧困といった政治・経済面での困難な問題を抱えており、衛生状態の悪化、感染症の蔓延、環境破壊などによって当該国の人々の健康が脅かされている。また、国境を越えた人・モノ・カネ・情報の流れが急激に増加・加速するグローバル化を背景に、これら途上国における問題は世界中の人々の健康にも不安を与えている。本科目では、グローバル社会の一員として開発途上国を支援し、世界のすべての人々がより良く生きられる未来を目指す国際協力について、基本的な概念や仕組み、国際協力政策の変遷、国際機関・先進国・NGO などの役割と支援・活動などについて学ぶ。		
到達目標	1. 開発途上国の現状や抱える諸課題について、その背景や意味を含めて説明できる。 2. 開発途上国を支援する国際協力の内容や意義について説明できるとともに、自分の意見を持ち発表できる。		
関連科目	国際関係論、社会学概論、文化人類学、国際保健医療・看護		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業中の学習状況	50%	授業中の学習状況は、発言、質問、および授業後に提出するコメントシートの内容を評価対象とする。
	レポート	50%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	開発途上国の現状と課題 経済面・社会面・政治面 諸問題の複雑なつながり・絡まり 途上国自身による取り組みと限界	事後：授業内容を振り返り復習	講義	(池見)
2	国際協力の歴史 国際協力の基本的概念・仕組み 経済協力から開発協力、国際協力へ 国際政治経済情勢と国際協力の変容	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
3	国際協力のアクター 国際機関、政府・援助実施機関、NGO、民間企業	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
4	日本の国際協力政策 歴史的経緯、他先進国との比較・特徴、重点地域・分野	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
5	国際協力の新たな課題 グローバル社会の新たな課題 人間の安全保障・平和構築 MDGs(ミレニアム開発目標)から SDGs(持続可能な開発目標)	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
6	保健医療衛生分野の国際協力とその特徴 具体例(日本政府、国連・国際機関、民間レベル)	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃

7	時事問題・ケーススタディ	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
8	まとめ	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃

授業科目	情報科学	1 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	大柳俊夫 (教育研究棟 1 C715 号) e-mail : ohyanagi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	本講義では、情報科学の基礎として、コンピュータシステムの構成要素と動作原理、情報の取り扱い、ネットワークとデータベース、そして情報セキュリティについて学習する。これらの学習を通して、コンピュータやネットワークの特性・限界を知り、日常的に直面するさまざまな“トラブル”の予防や対応のための基礎知識と実践の習得を目指す。さらに、コンピュータシステムの保健医療分野への応用の現状について理解する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータシステムの構成と動作原理を理解し、その限界を説明できる。 2. コンピュータ内部での情報の扱いについて理解できる。 3. コンピュータネットワークの構成と動作原理を理解し、パソコンやスマートフォンの設定ができる。 4. 情報セキュリティについて学習し、日常的な情報セキュリティ対策の方法を実践できる。 5. データベースシステムについて学習し、データベースの構築や利用ができる。 6. コンピュータシステムの保健医療分野への応用の現状について説明できる。 		
関連科目	特に無し		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	100%	
教科書	①魚田 勝臣 他 [2020 年] 「コンピュータ概論 情報システム入門(第9版)」 共立出版		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	1. 情報科学とはどのような学問か 2. 大学のコンピュータ環境	事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	講義	大柳
2	コンピュータの誕生からネットワーク社会：第一世代から第四世代のコンピュータ、利用形態	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
3	1. コンピュータシステムの構成 2. ハードウェアの概要	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
4	1. 情報量の単位 2. 記憶装置 3. 中央処理装置(CPU) 4. ハードウェアの構成要素間の関係→コンピュータの性能と価格	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
5	1. ソフトウェアの分類：応用ソフトウェア、基本ソフトウェア 2. オペレーティング・システムの役割・機能	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
6	1. コンピュータシステムの動作 2. コンピュータで扱えるデータ	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイト	〃	〃

	3. 10進数(人の世界)、2進数と16進数(コンピュータの世界) 4. 数値データの表現(1)	を利用して復習すること		
7	1. 数値データの表現(2) : 実数→浮動小数点形式 2. 文字データの表現 : コード表、文字化け 3. 画像データの表現(1) : 静止画像	事前 : 教科書を使って予習すること 事後 : 教科書ならびに学習支援サイトを を利用して復習すること	〃	〃
8	1. 画像データの表現(2) : 動画 2. 音データの表現 : 標本化、量子化、MP3 とは 3. アプリケーション固有のファイル形式と PDF	事前 : 教科書を使って予習すること 事後 : 教科書ならびに学習支援サイトを を利用して復習すること	〃	〃
9	1. 通信とは 2. LAN と WAN → インターネット 3. LAN の機能と構成 4. 家庭や外出先からのインターネットアクセス	事前 : 教科書を使って予習すること 事後 : 教科書ならびに学習支援サイトを を利用して復習すること	〃	〃
10	1. プロトコル : 通信規約とは? プロトコルの階層 2. インターネットのプロトコルの概要 : TCP/IP 3. IP アドレス 4. DNS(Domain Name System)	事前 : 教科書を使って予習すること 事後 : 教科書ならびに学習支援サイトを を利用して復習すること	〃	〃
11	電子メール : SMTP, POP, IMAP	事前 : 教科書を使って予習すること 事後 : 教科書ならびに学習支援サイトを を利用して復習すること	〃	〃
12	1. Web サービス : HTTP, HTML, Web サイトの構築 2. ワンクリック詐欺の仕組み	事前 : 教科書を使って予習すること 事後 : 教科書ならびに学習支援サイトを を利用して復習すること	〃	〃
13	1. 情報セキュリティとは 2. セキュリティリスクと対策 3. 法的整備	事前 : 教科書を使って予習すること 事後 : 教科書ならびに学習支援サイトを を利用して復習すること	〃	〃
14	1. 情報セキュリティ技術 2. アプリケーション開発	事前 : 教科書を使って予習すること 事後 : 教科書ならびに学習支援サイトを を利用して復習すること	〃	〃
15	1. データベース 2. 日本の電子カルテの取り組み	事前 : 教科書を使って予習すること 事後 : 教科書ならびに学習支援サイトを を利用して復習すること	〃	〃

授業科目	統計学	1 学年・後期・2 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	大柳俊夫 (教育研究棟 1 C715 号) e-mail : ohyanagi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	医療従事者にとって、医療の現場で日常的に発生するデータや情報を適切に取得、処理し、なおかつ説得力をもって他者に伝える表現能力は必要不可欠のことと言える。本講義では、基礎的な統計学として、データの整理・分析方法、推定・検定方法の基本について学習する。また、実習を通して学習したデータ整理・分析方法、推定・検定方法の考え方の理解を深めるとともに、いわゆる“統計のセンス”を身につける。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統計学の基本的な考え方、統計データの分類と実際のデータの整理方法について学習する。 2. 相関係数と回帰直線について説明できる。また、具体的なデータを使って求めることができる。 3. 確率変数、確率分布について数学的な定義、特徴について理解し、特に正規分布について、統計学での利用(応用)について説明できる。 4. 統計量と標本分布について理解し、推定と検定の基本的な考え方を説明できる。 5. 基本的な推定方法と検定方法について、それらの方法が使える条件を説明できる。 6. 保健医療分野でよく用いる検定方法について学習し、さらに統計処理ソフト EZR を利用できるようになる。 		
関連科目	保険医療統計学(作業療法学科)		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	演習・レポート	20%	
	試験	80%	
教科書	①東京大学教養部統計学教室 編 [2017 年(第 38 刷)] 「統計学入門」 東京大学出版会		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統計学の概要：統計学とは 2. 母集団と標本：統計学で明らかにする法則 3. 統計データの特徴と分類 	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	講義	大柳
2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 量的データと質的データ ⇒ スティーブンスの尺度 2. 観測値の数：1次元のデータ、2次元のデータ、多次元データ 	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
3	<ol style="list-style-type: none"> 1. 分析プロセスの方法 2. 度数分布表：階級とは、階級の幅(数)、階級の下限値 3. ヒストグラム：幅が一定の場合、幅が一定でない場合 	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
4	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒストグラムから分かること：単峰型、多峰型 2. 分布の特徴を表す特性値：代表値と散らばりの尺度(散布度) 3. 代表値：平均、中央値(メディアン)、最頻値(モード) 	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
5	<ol style="list-style-type: none"> 1. 散らばりの尺度：レンジ(範囲)、四分位偏差、分散と標準偏差、他 2. 歪度と尖度 3. 相関と回帰 	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃

6	1. 相関：量的データの場合、質的データを含む場合 2. 相関係数：量的データの場合 3. 相関係数に関する注意事項	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
7	1. 回帰直線 2. 質的データの場合の相関係数：順位相関係数 3. 相関関係と因果関係 4. 確率と確率変数	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
8	1. 確率変数の分類：離散型確率変数、連続型確率変数 2. 確率変数の期待値と分散 3. 代表的な確率分布	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
9	1. 正規分布と標準正規分布 2. 推測統計学概要：検定で明らかにできること 3. 母集団と標本 ⇒ 標本分布	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
10	1. 母集団分布に関する事前の仮定の有無 2. 標本平均の性質 3. 統計量と標本分布 4. 推定と検定の基本的な考え方：標本平均から母平均の推定と検定	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
11	1. 代表的な統計量と不偏推定量 2. 正規分布からの標本：カイ2乗分布、t分布、自由度	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
12	1. 2標本問題とは 2. 場合分けと等分散性の検定(F検定) 3. 推定の概略	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
13	1. 有意水準とは 2. 2つの仮説：帰無仮説と対立仮説 3. 統計的仮説検定の2種類の誤り 4. 対立仮説と棄却域 5. 検定の一般的な手順	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
14	1. カイ2乗検定：適合度検定、独立性の検定 2. その他の検定：分散分析、ノンパラメトリックな方法	事前：教科書を使って予習すること 事後：教科書ならびに学習支援サイトを利用して復習すること	〃	〃
15	1. EZR、Excelを使った統計処理	事後：実習資料を使って復習し、理解を深めること	講義・実習	〃

授業科目	家族関係学	2 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	(丸山洋平) (-) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	白土明子 (教育研究棟 D828 号) e-mail : ashira@sapmed. ac. jp
担当教員			
概要	社会生活の基礎単位である家族は少子高齢化や人口減少、社会構造の複雑化、グローバル化等の影響を受けながら、その姿を大きく変えている。同時に多様化も進んでおり、保健医療の対象となる方が、どのような家族関係を持っているのかを把握することの重要性も増している。本授業では、戦後日本を中心として現代社会の家族変動に対する理解を深めることを通し、家族の健康を維持するための保健医療職の役割を学ぶ。		
到達目標	1. 家族に関する学術的な基礎知識について説明できる。 2. 戦後日本のマクロ的な家族変動について説明できる。 3. 家族の役割や機能について説明できる。 4. 家族の健康を維持するための保健医療職の役割を説明できる。		
関連科目	臨床心理学、ジェンダー論、ヘルスアセスメント2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	50%	提出物：ミニッツペーパー
	課題	50%	
教科書	指定なし		
参考書	①石井まこと・宮本みち子・阿部誠 [2017] 「地方に生きる若者たち インタビューからみえてくる仕事・結婚・暮らしの未来」 旬報社 ②落合恵美子 [2019] 「21 世紀家族へー家族の戦後体制の見かた・超えかた[第 4 版]」 有斐閣選書 ③宮本みち子・大江守之 [2018] 「人口減少社会の構想」 放送大学出版会 ④森岡清美・望月嵩 [1997] 「新しい家族社会学」 培風館		
履修上の留意点	講義ではグループ・ディスカッションを取り入れます。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 家族とは何か考えてみる	事前：配付資料を読む 事後：ミニッツペーパーの提出	講義・ グループ 学習	丸山
2	家族の特徴と定義 人々の意識における家族の姿 家族という集団の特徴	事前：配付資料を読む 事後：ミニッツペーパーの提出	〃	〃
3	現代日本の家族・世帯の姿と変化	事前：配付資料を読む 事後：ミニッツペーパーの提出	〃	〃
4	家族形成とライフコース 長寿化と家族	事前：配付資料を読む 事後：ミニッツペーパーの提出	〃	〃
5	家族主義的な日本の福祉システム 都市部居住単身者の生活実態	事前：配付資料を読む 事後：ミニッツペーパーの提出	〃	〃
6	労働と家族	事前：配付資料を読む 事後：ミニッツペーパーの提出	〃	〃

7	親と子の同居状態の変化 親と同居する地方圏の若者の実態	事前：配付資料を読む 事後：ミニッツペーパーの提出	〃	〃
8	姿を変え続ける家族 保健医療職の関わり方とは	事前：配付資料を読む 事後：ミニッツペーパーの提出	〃	〃

授業科目	手話・点字	1 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	有木茂 (教育研究棟 D827) e-mail : sarikscb@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	手話：(若浜ひろ子)、(藤井義子) 点字：(福山紀枝子)、(未定)		
概要	聴覚障害者の言語である「手話」の基本と聴覚障害者に関する知識を学ぶ。外見では分かりにくい聴覚障害についての理解を深めながら、実際に聴覚障害者と接した時に、適切な対応ができ、且つ積極的なコミュニケーションをとるための方法を学ぶ。 「点字」の実技を学ぶと共に、視覚障害者への教育、社会的ハンディキャップなどを正しく理解する。また、視覚障害者に関する知識を取り入れ、医療に役立てられるようにする。		
到達目標	手話 1. 医療場面における聴覚障害者への配慮と対応方法を学び、基本的な手話を習得・実践できる。 2. 聴覚障害者のコミュニケーション手段の一つである手話という言語を基礎から学び、初歩的な会話ができる。 3. 聴覚障害者が社会生活を送る上での様々なバリアについて考察し、説明できる。 点字 1. 視覚障害者の生活や必要な配慮などを説明できる。 2. 点字の表記法を知り、五十音から文章構成までの基本について習得・実践できる。 3. 簡単な文章構成を知り、点字に訳することができる。 4. 視覚障害者の歩行について学び、介助の方法や配慮について演習を通して学び実践できる。		
関連科目	なし		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	手話：手話実技	30%	「手話」、「点字」両方の評価が6割以上となった場合に単位を付与する。総合評価が6割以上でも「手話」、「点字」いずれかの評価が6割未満であれば不合格となるので注意すること。それぞれの評価については以下を参照すること。 手話：全ての講義終了後に実技試験を行う。小論文・レポートの課題は講義内で提示するので、指定された期日までに提出すること。 点字：全ての講義終了後に点訳試験・墨訳試験・筆記試験を行う。
	手話：小論文・レポート	20%	
	点字：点訳・普通文字訳試験	25%	
	点字：各講義の問題提出	25%	
教科書	①公益社団法人札幌聴覚障害者協会 [2023年・1,100円] 「さっぽろの手話」 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 ②日本点字委員会 [2013年・537円] 「点訳のしおり」 日本点字図書館		
参考書	① [2009年・880円] 「さっぽろの手話(医療編)」 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 ② [2006年・2,200円] 「医療の手話シリーズ①外来編」 財団法人全日本聾唖連盟 ③ [2016年・2860円] 「わたしたちの手話学習辞典Ⅰ・Ⅱ」 一般財団法人全日本ろうあ連盟出版局		
履修上の留意点	手話：①手話は手の動きだけで覚えるものではなく、表情、心、身体全体の動きが必要です。 ②ひとつひとつの動作に意味があるため、正しくマスターするためには講師によるチェックが不可欠です。 ③「さっぽろの手話」を必ず携帯すること。 点字：「点訳のしおり」を必ず携帯すること。 * 「手話・点字」のテキストは大学書房では販売しません。教務係から購入の案内があります。 * 看護学科と理学療法学科・作業療法学科にクラス分けして開講するので時間割に注意すること。 * 試験の詳細な実施日程は、講義内あるいは学生サポートシステムで通知する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション 視覚障害者の基礎的知識、点字の意義 五十音・数字・アルファベットの表記の仮名遣い 単語の読み・書き	事後：五十音・数字・アルファベットの表記の復習	講義・演習	(福山)・ (未定)
2	分かち書き1(基本的な区切り方) 分かち書き2(行移しなど)	事後：普通文字訳問題の解答	〃	〃
3	文章の読み・書きの基本的知識の習得と実践	事後：普通文字訳問題の解答	〃	〃
4	視覚障害者の歩行についての理解 視覚障害者の歩行の模擬体験と介助方法の習得 まとめのテスト	事後：普通文字訳問題の解答	〃	〃
5	オリエンテーション 講義：聴覚障害の基礎知識 I 「聴覚障害・コミュニケーションについて」 実技：「身振りで伝えあってみましょう」	事後：挨拶と簡単な手話の復習	〃	(若浜)・ (藤井)
6	講義：手話の基礎知識 I 「手話言語について」 実技：挨拶・自己紹介・指文字(五十音)	事後：自己紹介・指文字の復習	〃	〃
7	実技：①家族の手話 ②趣味の手話	事後：家族・趣味の復習	〃	〃
8	講義：聴覚障害の基礎知識 II ①DVDを鑑賞し、聴覚障害者の生活を考える ②福祉制度について 実技：会話練習	事後：会話表現の復習	〃	〃
9	講義：聴覚障害の基礎知識 III 「聴覚障害者の生活について」 実技：数の手話	事後：数の復習	〃	〃
10	実技：時に関する手話① 医療に関する手話表現・会話①	事後：医療に関する手話表現の復習	〃	〃
11	講義：手話の基礎知識 II 「ろう教育について」 実技：時に関する手話②	事後：医療に関する手話表現の復習	〃	〃
12	実技：医療に関する手話表現・会話②	事後：医療に関する手話表現の復習	〃	〃
13	講義：聴覚障害の基礎知識 IV 「耳の仕組み・聞こえの仕組みについて」 実技：医療に関する手話表現・会話③	事後：医療に関する手話表現の復習	〃	〃
14	実技：まとめ「医療に関する手話表現・会話の演習」	事後：医療に関する手話表現の復習	〃	〃
15	実技：①読み取り事前練習 ②まとめ「医療に関する手話表現・会話の演習」	事後：医療に関する手話表現の復習	〃	〃

授業科目	人間とアート	1～2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	(川上理恵) (一) e-mail : —	非常勤講師 連絡担当教員	高橋義信 (教育研究棟 I C809 号) e-mail : yoshi@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	医療は「サイエンス」と「アート」の2つの側面が存在すると言われており、自然科学的な知識や技術のみでより良い医療は成り立たない。本科目では、人間にとって「アート」とは何か、なぜ必要なのか、感性とは何かを理解し、言語に頼らず感じ取る力を養う。		
到達目標	1. アートが人間にとって必要な理由を説明できる。 2. 言語以外の表現として、アートに何ができるかを説明できる。 3. アートによる様々な応用について説明できる。		
関連科目	なし		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	プレゼンテーション	40%	プレゼンテーション：8 回目にプレゼンテーションを実施する。発表内容について 40%で評価する。
	レポート	40%	
	授業参加態度	20%	レポート：8 回目および随時レポートを課す。レポート内容について全体を 40%で評価する。
			授業参加態度：グループワークおよび授業期間全体の参加状況(積極性)について 20%で評価する
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス/アートについて① アートと芸術、環境芸術など	事前：アートとは何かをイメージする。 事後：授業で紹介された中で、興味を持った作品を掘り下げる。	講義	(川上)
2	アートについて② 公共空間でのアートプロジェクトなど	事前：生活のなかで目にしたアートを記録する。 事後：授業で紹介された中で、興味を持った作品を掘り下げる。	〃	〃
3	アートについて③ アート作品の制作手法、コンセプト、ディテールなど	事前：制作者の視点から、2 回目で記録した作品の制作過程を想像する。 事後：授業で紹介された中で、興味を持った作品を掘り下げる。	〃	〃
4	課題発表とグループワーク	事前：これまでの授業で紹介された作品などを整理する。 事後：グループワークの内容を振り返る。	グループワーク	〃
5	ホスピタルアートについて 空間とアート、建築とアートの連関など	事前：病院内のアート作品についてイメージする。 事後：授業で紹介された中で、興味を持った作品を掘り下げる。	講義	〃

6	アートと社会について	<p>事前：これまでの授業で紹介された作品などを通して、アートの役割について考える。</p> <p>事後：授業で紹介された中で、興味を持った作品を掘り下げる。</p>	講義とグループワーク	〃
7	グループワーク プレゼンテーションの準備	<p>事前：これまでの授業で紹介された作品などを整理し、ディスカッションの用意をする。</p> <p>事後：授業を通して最終課題を進める。</p>	グループワーク	〃
8	課題プレゼンテーション	<p>事前：プレゼンテーションの準備をする。</p> <p>事後：授業を踏まえてレポートを完成する。</p>	〃	〃

授業科目	トレーニングとスポーツ	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	(花井篤子) (-) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	大柳俊夫 (教育研究棟 1 C715 号) e-mail : ohyanagi@sapmed.ac.jp
担当教員	(畝中智志)		
概要	どのような自己実現を目指すにせよ、健康であることは重要な要素である。積極的な身体活動は、体力の向上のみならず、生活習慣病の予防・改善、さらには良好な精神衛生にも貢献する。本授業では、履修者がトレーニング科学の基礎知識を裏付けに、具体的な実践例(運動器機類使用や各種スポーツのなかで)を学び、将来医療従事者として自らの健康の維持・増進に役立てると共に、他者にも身体運動の理論的、実践的な重要性について教授できる基礎を習得する。		
到達目標	1. トレーニングに関する基礎理論、実施方法を身につけること。 2. 各スポーツ種目の基本的なルール、技術を取得すること。 3. 自主的にトレーニングおよびスポーツ活動を計画し、実践できること。		
関連科目	なし		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	意欲・態度	70%	・意欲・態度(授業への出席率と実技への積極的な運動参加)70% ・課題提出30%
	課題提出	30%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	遅刻、私語の禁止はむろんのこと、また積極的に参加できない者は履修を控えること。 実技参加の際は、体育館用運動靴(裏底が黒くないものが望ましい)とスポーツウェアを着用のこと。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	①授業のねらいと実施計画、②体力テストのねらいと評価 ③体力テストの実施：体力の現状把握(形態および機能)	事前学習：体力テストの意義と活用法について予習する 事後学習：測定結果のフィードバックと授業内容の復習を行う	演習	(畝中)(花井)
2	A 理論：有酸素運動、調整力トレーニングのねらいと効果 B 実践：①エアロビック、②コーディネーショントレーニング	事前学習：体力の概念・体力づくりの方法について予習する 事後学習：有酸素運動、調整力トレーニングの理論と具体的方法について復習する	〃	〃
3	A 理論：有酸素運動、調整力トレーニングのねらいと効果 B 実践：①エアロビック、②コーディネーショントレーニング	事前学習：体力の概念・体力づくりの方法について予習する 事後学習：有酸素運動、調整力トレーニングの理論と具体的方法について復習する	〃	〃
4	A 理論：①重量負荷によるトレーニング基礎理論と有酸素運動の説明、②ストレッチングの種類、効果 B 実践：①ウェイトトレーニングとバイクを使った有酸素運動、②バリスティック、スタティック、ダイナミックストレッチング	事前学習：重量負荷によるトレーニングと有酸素運動、ストレッチングの理論・具体的方法について予習する 事後学習：授業で学んだトレーニング方法を復習し、日常で活用する。	〃	〃
5	A 理論：①重量負荷によるトレーニング基礎理論と有酸素運動の説明、②ストレッチングの種類、効果	事前学習：重量負荷によるトレーニングと有酸素運動、ストレッチングの理	〃	〃

	B 実践：①ウェイトトレーニングとバイクを使った有酸素運動、②バリスティック、スタティック、ダイナミックストレッチング	論・具体的方法について予習する 事後学習：授業で学んだトレーニング方法を復習し、日常で活用する。		
6	A 理論：ニュースポーツの意義と説明 B 実践：①キンボールの体験、②ミニバレーかインディアカの体験	事前学習：ニュースポーツのルールについて予習する 事後学習：授業で学んだニュースポーツについて復習をする	〃	〃
7	A 理論：ニュースポーツの意義と説明 B 実践：①キンボール体験、②ミニバレーかインディアカ体験	事前学習：ニュースポーツのルールについて予習する 事後学習：授業で学んだニュースポーツについて復習をする	〃	〃
8	A. 理論：生涯スポーツ(バドミントン)の特性, 基本ルールの説明 B. 実践：部分練習(バックハンド, フォアハンド, ストローク)-全体練習(ゲーム)	事前学習：バドミントンゲームの基礎的ルールについて予習する 事後学習：授業で学んだバドミントンゲームの基礎的ルールについて復習する	〃	〃
9	A. 理論：生涯スポーツ(バドミントン)の特性, 基本ルールの説明 B. 実践：部分練習(バックハンド, フォアハンド, ストローク)-全体練習(ゲーム)	事前学習：バドミントンゲームの応用ルール(試合など戦術戦略)について予習する 事後学習：授業で学んだバドミントンゲームの応用ルール(試合など戦術戦略)について復習をする	〃	〃
10	A. 理論：生涯スポーツ(バレーボール)のスポーツの特性, 基本ルールの説明 B. 実践：部分練習(パス, サービス, スパイクなど)-全体練習(ゲーム)	事前学習：バレーボールゲームのルールについて予習する 事後学習：授業で学んだバレーボールゲームの応用ルール(試合形式、戦術戦略)について復習する	〃	〃
11	A. 理論：生涯スポーツ(バレーボール)の特性, 基本ルールの説明 B. 実践：部分練習(パス, サービス, スパイクなど)-全体練習(ゲーム)	事前学習：バレーボールゲームの基礎的ルールについて予習する 事後学習：授業で学んだバレーボールゲームの基礎的ルールについて復習をする	〃	〃
12	A. 理論：生涯スポーツ(バスケットボール)の特性, 基本ルールの説明 B. 実践：部分練習-全体練習(ゲーム)	事前学習：バスケットボールゲームの応用ルール(試合形式)について予習する 事後学習：授業で学んだバスケットボールゲームの応用ルール(試合形式)について復習をする	〃	〃
13	A. 理論：生涯スポーツ(バスケットボール)の特性, 基本ルールの説明 B. 実践：部分練習-全体練習(ゲーム)	事前学習：バスケットボールゲームの応用ルールについて(試合における戦術・戦略)について予習する 事後学習：授業で学んだバスケットボールゲームの応用ルールについて(試合における戦術・戦略)について復習をする	〃	〃
14	A 理論：生涯スポーツのまとめ B. 実践：これまで実施した生涯スポーツの中からスポーツ選択を行い、ゲームを実践する	事前学習：これまで授業で実践した生涯スポーツについて振り返る 事後学習：これまで授業で実践した生涯スポーツについて、日常生活で実践	〃	〃

		するための計画や工夫について考える		
15	A. 理論：トレーニング効果の把握のための体力テスト(形態および機能) B. 実践：体力の評価, 今後の課題	事前学習：授業初回に行った体力テスト、形態計測の結果を振り返る 事後学習：授業初回と最終回に行った体力テスト、形態計測の結果を元に、今後のトレーニング及びスポーツ活動の計画と実践について考える	”	”

授業科目	英会話 A	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	(ダニエル・オカス) () e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	グレゴリー・ウィーラー (教育研究棟 IC706 号) e-mail : wheeler@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	This aim of this class is to improve the students' oral English communication skills through extensive practice in speaking and listening. Students will also be able to further develop their intercultural communication skills and gain confidence communicating in English on a wide variety of topics.		
到達目標	1. To gain confidence and competence in communicating in basic English. 2. To learn to use English appropriately in a variety of situations. 3. To improve intercultural communication skills.		
関連科目	実践英語、ロシア語、中国語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	Class participation	40%	
	Homework	40%	
	Final presentation	20%	
教科書	①There is no textbook. Each class the students will receive handouts from the teacher.		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	This is an oral English communication class so students should come to class ready to communicate and interact with their classmates. The schedule is flexible and may be altered depending on the students' progress. ※非常勤講師のため普段は学内にいません。用事がある場合は講義の前後に申し出てください。 ・IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	Course introduction/explanation Self-introductions Classroom language	Before: Read the syllabus After: Complete any homework given	演習	(オカス)
2	Expressing opinions	Before: Review previous lesson After: Complete any homework given	〃	〃
3	Constructing an argument	〃	〃	〃
4	Review of previous two lessons plus new situations / Vocabulary	〃	〃	〃
5	Creating questions / Interview introductions	〃	〃	〃
6	Interviews / Jobs / Friends / Other	〃	〃	〃
7	Goal setting and solutions / Advice	〃	〃	〃

8	Plans and excuses	"	"	"
9	Conversation practice and examples	"	"	"
10	Verb and action practice	"	"	"
11	Using Should and Should not	"	"	"
12	Step by step - practice with order of operation	"	"	"
13	Review of homework and past topics covered	"	"	"
14	Review and planning for final presentation	"	"	"
15	Final presentation	Before: Review weeks 1-14 After: /	発表	"

授業科目	英会話B	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	(クドウ・ローラ) (-) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	グレゴリー・ウィーラー (教育研究棟 IC706 号) e-mail : wheeler@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	This course aims to have students attain a level of communicating with ease in real life situations in English. Each class will have a “grammar focus” as a base and the listening and speaking activities will be related to the grammar point of the class. Work will be done in pairs and/or groups. Weekly homework will be assigned.		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> To actively communicate in English with confidence. To converse in English appropriately in different real life situations. To better their interpersonal and intercultural communications skills. 		
関連科目	実践英語、ロシア語、中国語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	Classwork	40%	
	Homework	20%	
	Midterm	20%	
	Final assessment	20%	
教科書	①There is no textbook for the course. The class materials will be provided by the teacher.		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>This is an English communication course. Active participation is of the utmost importance. The class will be conducted entirely in English. Come to class prepared to speak English.</p> <p>※非常勤講師のため普段は学内にいません。用事がある場合は講義の前後に申し出てください。</p> <p>・IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	Introduction Getting to know your classmates	Before: Review syllabus After: Review the work done in class	演習	(クドウ)
2	Talking about the present, your life, world issues, etc. — present tense	Before: Study the grammar focus of the class After: Do the class homework	”	”
3	Discussing ongoing events, what people are doing at the moment, etc. — present continuous	”	”	”
4	Talking about the past (past actions, past events, etc. — past tense — time expressions)	”	”	”
5	Talking about finished past actions and actions in progress in the past — simple past and past continuous	”	”	”

6	Comparing places and things — comparatives and superlatives	”	”	”
7	How often do you...? Adverbs of frequency + Active and Passive Voices	”	”	”
8	Mid-term evaluation	Before: Review weeks 2-7 After: Do the class homework	テスト	”
9	Expressing feelings and emotions — adjectives of emotion + ed/ing adjectives	Before: Study the grammar focus of the class After: Do the class homework	演習	”
10	Making requests Asking for permission	”	”	”
11	Future plans, events — future tenses	”	”	”
12	Giving advice/suggestions — practice using different ways to offer advice and suggestions	”	”	”
13	Talking about the past and the present — present perfect	”	”	”
14	Talking about wishes and unreal situations — second conditional	”	”	”
15	Final evaluation	Before: Review weeks 9-14	テスト	”

授業科目	英会話C	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	(ホルスト・マーク) () e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	グレゴリー・ウィーラー (教育研究棟 IC706 号) e-mail : wheeler@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	The aim of this course is to increase students' confidence and fluency in communicating in English, and to develop their speaking, listening and writing skills. Also, they will carry out a group research project and present their findings to the class.		
到達目標	1. In class: students will do speaking and writing activities based on a weekly topic, including discussions, interviews, role-plays, vocabulary tests and reading each others' writing. 2. Outside class: students will write short essays, study vocabulary, collaborate in groups to investigate a news topic and present their findings to the class.		
関連科目	実践英語、ロシア語、中国語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	Homework	30%	
	Vocabulary tests	20%	
	Presentation	25%	
	Speaking test	25%	
教科書	①There is no textbook for this course. Weekly worksheets will be provided by the teacher.		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	It will be very important that students attend and participate in the class. It will be necessary for communication in class to be conducted in English. ※非常勤講師のため普段は学内にいません。用事がある場合は講義の前後に申し出てください。 ・IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	Introduction	After: Write short essay	演習・ 文章力	(ホルスト)
2	Describing places	Before: Study vocabulary After: Review topics discussed in class	演習	"
3	Getting information	Before: Study vocabulary After: Write short essay	演習・ 文章力	"
4	Describing people	Before: Study vocabulary After: Review topics discussed in class	演習	"
5	Explaining concepts and ideas	Before: Study vocabulary After: Write short essay	演習・ 文章力	"

6	Diet, health and well-being	Before: Study vocabulary After: Search for a news story	演習	〃
7	Giving advice	Before: Study vocabulary After: Write essay on group topic	演習 ・ 文章力	〃
8	University life	Before: Study vocabulary After: Prepare survey	演習	〃
9	Class surveys	Before: Upload surveys to Google After: Analyse survey data; write short essay	演習 ・ 文章力	〃
10	Extra-curricular activities	Before: Study vocabulary After: Prepare slideshow	演習	〃
11	Presentation practice	Before: Prepare for presentation practice After: Practice presentation	演習	〃
12	Presentations	Before: Prepare for presentations After: Fill in presentation evaluations	発表	〃
13	Language for socialising; speaking test practice	Before: Study vocabulary After: Write short essay	演習 ・ 文章力	〃
14	Superstitions — speaking test preparation	Before: Study vocabulary After: Speaking test practice	演習	〃
15	Speaking test	Before: Prepare for speaking test	テスト	〃

授業科目	英会話D	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	(マイケル・デイビス) () e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	グレゴリー・ウィーラー (教育研究棟 IC706 号) e-mail : wheeler@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	This course aims to improve the students' English communication skills through the introduction and practice of functional language encountered in common social situations. These will include the exchange of personal information, expressions of preference and interest, and giving and receiving advice. Each lesson will be underpinned by a clear grammar focus reinforced by listening, pronunciation practice, pair work, and group English conversation tasks. The course material will be based on the teacher's own handouts, supplied at the end of the previous lesson.		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> To equip the student with the skills to effectively communicate in basic English. To apply these English skills appropriately in a variety of common social situations. To practice through extensive role-play and pair work activities. To improve intercultural communication skills. 		
関連科目	実践英語、ロシア語、中国語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	Class participation	40%	The students will be assessed on class participation (40%), primarily through observation through classroom activities, note taking, preparation before class, and attitude. The midterm exam (30%) will be based on lessons 2 through 7, and the final exam (30%) will be based on lessons 2 through 14.
	Midterm exam	30%	
	Final exam	30%	
教科書	①No textbook. Students will study using material prepared by the teacher.		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>Please ensure that you come to each class with previous handouts and notes. A dictionary is essential as well as proper revision of handouts.</p> <p>※非常勤講師のため普段は学内にいません。用事がある場合は講義の前後に申し出てください。</p> <p>・IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	Course introduction- Explanation of syllabus and expectations. Introduce and practice self-introductions. Clear presentation of essential grammar terms. Noun, verb, adjective, and adverb.	Before: Read the syllabus. After: Review week 1 lesson handout.	講義 演習	(デイビス)
2	Expressing preferences, likes, and dislikes. Grammar focus - present tense.	Before: Look at preparation exercise on week 2 lesson handout. After: Review week 2 lesson handout, complete any homework.	演習 発表	〃

3	Asking questions to get to know people. Grammar focus- past tense. Talk about childhood, family, and friends.	Before: Look at preparation exercise on week 3 lesson handout. After: Review week 3 lesson handout, complete any homework.	〃	〃
4	Describing things 1. Shopping and describing objects. Grammar focus- count and non-count nouns, adjectives, and quantifiers.	Before: Look at preparation exercise on week 4 lesson handout. After: Review week 4 lesson handout, complete any homework.	〃	〃
5	Describe past personal experiences. Grammar focus- present perfect tense.	Before: Look at preparation exercise on week 5 lesson handout. After: Review week 5 lesson handout, complete any homework.	〃	〃
6	Describing things 2. Using adjectives in evaluation and comparison of home and city life.	Before: Look at preparation exercise on week 6 lesson handout. After: Review week 6 lesson handout, complete any homework.	〃	〃
7	Making future-plans. Asking and explaining future-plans. Grammar focus- future form going to and will.	Before: Look at preparation exercise on week 7 lesson handout. After: Review week midterm exam handout in preparation for exam.	〃	〃
8	Midterm exam based on lessons from week 2 through 7.	Before: Prepare for midterm exam using midterm exam handout. Students will be assessed on their ability to hold a conversation on any of the previous handouts or subjects. After: Review week 9 lesson handout.	テスト	〃
9	Making requests and responding in everyday situations. Grammar focus- modal auxiliary verbs.	Before: Look at preparation exercise on week 9 lesson handout. After: Review week 9 lesson handout, complete any homework.	演習 発表	〃
10	Discussing your routine. Build up conversations on weekly activity. Grammar focus- adverbs of frequency.	Before: Look at preparation exercise on week 10 lesson handout. After: Review week 10 lesson handout, complete any homework.	〃	〃
11	How do you feel? Using adjectives to express your feelings and experiences. Everyday English at the doctors- common phrases and vocabulary used in a visit to the doctors.	Before: Look at preparation exercise on week 11 lesson handout. After: Review week 11 lesson	〃	〃

		handout, complete any homework.		
12	Discussion activity 1. Maintaining a conversation on a specific topic. Grammar focus- the use of rejoinders, clarification, and follow up questions.	Before: Look at preparation exercise on week 12 lesson handout. After: Review week 12 lesson handout, complete any homework.	"	"
13	Discussion activity 2. Maintaining a conversation on a specific topic. Grammar focus- answering with details, interrupting, and soliciting more details.	Before: Look at preparation exercise on week 13 lesson handout. After: Review week 13 lesson handout, complete any homework.	"	"
14	Discussion activity 3. Maintaining a conversation on a specific topic. Grammar focus. Expressing an opinion.	Before: Look at preparation exercise on week 14 lesson handout. After: Review final exam preparation handout.	"	"
15	Final exam based on lessons from week 2 through 14.	Before: Review final exam preparation handout. Students will be assessed on their ability to hold a conversation on any of the previous handouts or subjects.	テスト	"

授業科目	英会話E	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	(チェン・ベンジャミン) () e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	グレゴリー・ウィーラー (教育研究棟 IC706 号) e-mail : wheeler@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	The aim of this course is for students to be able to understand and discuss real life issues learned within meaningful and authentic content. Learners will stimulate and develop their curiosity for English through formal presentations, student-to-student interactions and participation.		
到達目標	Students will: 1. engage in tasks in which they produce targeted language functions 2. discuss their opinions on real life issues 3. engage in interactive role-play activities		
関連科目	実践英語、ロシア語、中国語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	Class work	25%	Exam 1 will be based on content covered during classes 2 through 5. Exam 2 will focus on content covered during classes 11 through 14.
	Role-plays	25%	
	Exam 1	25%	
	Exam 2	25%	
教科書	①There is no textbook for the course. The instructor will provide material to be used in class.		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	This is an English communication course so please understand that participation is of great importance in order for the course to be successful. Please come to each class prepared to participate actively. ※非常勤講師のため普段は学内にいません。用事がある場合は講義の前後に申し出てください。 ・IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	Course description, writing task	After: Review expressions discussed in class.	講義・演習	(チェン)
2	In class learning activity 1A	After: Review expressions and vocabulary learned in class.	演習	"
3	In class learning activity 1B	Before: Review previous unit. After: Review expressions and vocabulary learned in class.	"	"
4	In class learning activity 2A	Before: Review previous unit. After: Review expressions and vocabulary learned in class.	"	"
5	In class learning activity 2B	Before: Review previous unit. After: Review all material from activities 1A - 2B.	"	"
6	Review and Test 1 on activities 1A - 2B	Before: Review all material from activities 1A - 2B.	テスト	"

7	Role-play 1 introduction and practice	After: Review key words and language targets to be used in role-plays.	演習	〃
8	Role-play 2 introduction and practice	Before: Review key language terms. After: Review grammar and pronunciation.	〃	〃
9	Role-play feedback and further practice	Before: Review key language terms. After: Practice and memorize scripts.	〃	〃
10	Role-play performance	Before: Practice and memorize scripts.	発表	〃
11	In class learning activity 3A	After: Review expressions and vocabulary learned in class.	演習	〃
12	In class learning activity 3B	Before: Review previous unit. After: Review expressions and vocabulary learned in class.	〃	〃
13	In class learning activity 4A	Before: Review previous unit. After: Review expressions and vocabulary learned in class.	〃	〃
14	In class learning activity 4B	Before: Review previous unit. After: Review all material from activities 3A - 4B.	〃	〃
15	Review and Test 2 on activities 3A - 4B	Before: Review all material from activities 3A - 4B.	テスト	〃

授業科目	実践英語 A	1 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	佐々木香織 (教育研究棟 C708 号) e-mail : kaorisasaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	山口和彦		
概要	<ul style="list-style-type: none"> この授業では、映画『ゴースト』を題材にしてリスニングを中心に、英語力の向上を図ります。 この映画は 1990 年公開の「幽霊となっても愛する人を守ろうとする姿を描いたラブストーリーです」。決して怖い話ではありませんので安心して下さい。 映画の内容：強盗に襲われ命を落とした銀行員サムは、幽霊となって恋人モリーのそばに現れますが、彼女には彼の存在がまるで伝わりません。やがて自分を殺した強盗が彼女にも迫っていることを知って、霊媒師ブラウンの力で危険を知らせようとしませんが… 課題でリスニングなどの練習を各自で行ってもらいます。 状況に応じて文法の課題も出す場合があります。 		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. スクリプトの英語が聞取れる・理解できる。 2. テキスト中の表現に習熟できる。 3. 自習を通して、リスニングなどの練習をする習慣を身につけられる。 		
関連科目	英会話、保健医療英語、アカデミック英語、中国語、ロシア語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業時の成果発表	40%	
	課題	30%	
	試験	20%	
	その他	10%	
教科書	①角山照彦 [2009 年] 「GHOST『ゴースト-ニューヨークの幻』映画で学ぶコミュニケーション演習」 センゲージラーニング ②CNN English Express 編集部 [2024 年] 「初級者からのニュース・リスニング CNN Student News」 朝日出版社		
参考書	①井上 永幸、赤野 一郎 [2018 年] 『ウィズダム英和辞典』第 4 版 小学館 ②赤須薫 [2023 年] 『ライトハウス英和辞典』第 6 版 研究社 ③野村恵造 [2018 年] 『コアレックス英和辞典』第 3 版 旺文社 ④宮井捷二 [2016 年] 『グランドセンチュリー英和辞典』第 4 版 三省堂 ⑤Raymond Murphy [2016 年] 「マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第 3 版」 Cambridge University Press		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な授業参加を期待します。 参考書にあげているような中型の学習用辞書を必ず持参して下さい。電子辞書でも構いません。 受験時代に使った総合英語や文法書も持参すると良いでしょう。 文法が苦手な人は参考書の『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)』をお勧めします。 ※IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	受講の仕方、授業の流れ、成績評価の仕方等	講義・演習	講義・演習	山口
2	The Loft	事前：テキスト該当箇所の予習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
3	Unchained Melody	事前：テキスト該当箇所の予習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃

4	Life After Death	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
5	Willy Lopez	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
6	Spiritual Adviser	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
7	The Truth	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
8	The Police	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
9	Subway Ghost	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
10	Rita Miller	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
11	Revenge	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
12	The Penny	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
13	Last Chance	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
14	予備日	事前：テキスト該当箇所の子習 事後：テキストや配布プリント等の復習	〃	〃
15	学習内容の総復習(学習内容の順番等内容は変更する場合があります)		〃	〃

授業科目	実践英語B	1 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択必修

科目担当責任者	佐々木香織 (教育研究棟 IC708 号) e-mail : kaorisasasaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	グレゴリー・ウィーラー		
概要	The goal of this course is to help students improve their paragraph (and essay) writing skills. By the end of the course, it is hoped that students should be able to write clear and concise paragraphs and have a better idea of what constitutes a well-written short essay. Students will be writing several paragraphs both in class and as homework. Toward the end of the course, they will also be expected to write a short essay. Students will have considerable freedom in choosing topics that they wish to write about, be it current events or issues that they feel are important to them.		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Distinguish between "spoken" (casual) and "written" (often more formal) English. 2. Exam structural rules concerning written English. 3. Focus on proper organization of paragraphs and essays. 4. Discuss ways to make the paragraphs and essays read more "smoothly." 		
関連科目	英会話、ロシア語、中国語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	Class work	20%	
	Midterm test	25%	
	Final test	25%	
	Homework	30%	
教科書	①All material will be provided by the instructor. Students will need to bring a pen/pencil and paper to class.		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>It will be very important for students to bring paragraph/essay topic ideas to class. It is also important that students participate fully in class. Although the focus of this course is writing, students will be asked to discuss topics that are raised in class.</p> <p>・ IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いてません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	Introductions and expectations. Handout on common mistakes in paragraphs	After class: Review handouts received in class.	講義・演習	ウィーラー
2	Paragraph topics sentences	Before class: Review "Mistakes" handout. After class: Review Topic sentences handout.	"	"
3	Supporting the paragraph's topic sentence ; concluding sentences	Before class: Review Topic sentences handout. After class: Review Support for topic sentences and concluding sentences handouts.	"	"
4	Keeping the paragraph flow "smooth"	Before class: Review Support for topic sentences and Concluding sentences handouts. After class: Review "Smoother" sentences handout.	"	"

5	Understanding how to organize paragraphs	Before class: Review "Smoother" sentences handout. After class: Review Organization handout.	"	"
6	Importance of including ample information ; contractions	Before class: Review Organization handout. After class: Review Importance of information handout.	"	"
7	Determining what is important information (irrelevant sentences); incomplete sentences	Before class: Review Importance of information handout. After class: Review handouts about irrelevant sentences and incomplete sentences.	"	"
8	Brainstorming; keeping a good balance of information in paragraphs; articles	Before class: Review Irrelevant sentences/Incomplete sentences handouts. After class: Review the three handouts distributed during class.	"	"
9	Review of what we have covered thus far in class	Before class: Review handouts from previous classes. After class: Prepare for next week's exam.	"	"
10	Midterm. Students will rewrite a paragraph with issues that have been discussed in the previous classes	Before class: Review all handouts to be ready for exam.	テスト	"
11	Transition from writing paragraphs to essays (major differences between paragraphs and essays)	Before class: Review information from previous weeks. After class: Review information concerning paragraph to essay transition.	講義・演習	"
12	Thesis statements and introductory paragraphs	Before class: Review information concerning paragraph to essay transition. After class: Review Thesis statements and Introductory paragraphs handouts.	"	"
13	Body paragraphs	Before class: Review Thesis statements and Introductory paragraphs handouts. After class: Review Body paragraphs handout.	"	"
14	Concluding paragraphs and review	Before class: Review Body paragraphs handout. After class: Review all material.	"	"
15	Final. Students will write a short essay in class	Before class: Review all material.	テスト	"

授業科目	実践英語 C	1 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	佐々木香織 (教育研究施設 IC708 号) e-mail : kaorisasaki@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	佐々木香織		
概要	<p>この授業は英文読解の力を涵養としつつ、英語で皆さんが医療人として将来的に必要な教養も育みます。その大枠は3つあります。</p> <p>第一に、この授業で使用する教科書は、英国人で日本に長くいた特派員が書いたものなので、日本人に配慮した形でイギリスを紹介する内容で、英文読解能力を育むことを目標とされています。文の構造を文法や構文の知識を使って紐解いて英文を解釈する力を伸ばすだけでなく、英文の内容を文章の前後の関係を把握して、きちんと内容を理解できる力も伸ばしていきます。なんとなく内容がわかる状態から、一步先に進んだ英語読解能力が上がることを目標としています。</p> <p>第二に、看護/理学療法/作業療法の仕事に就いた際には、英語でも日本語でも多様な資料——論文から新聞記事、そして動画に至るまで——を用いて患者さんへの対応を考えることが有用であることがあります。その内容を理解するには、大学生程度の英語の語彙と読解力のみならず、社会や文化といったその内容の背景にあるものの把握できる程度の教養も必要となります。なぜなら臨床を取り巻く社会状況が理解できていないと、看護・作業療法・理学療法においても、患者さんが置かれた状況を、日本語でも理解するのが難しいからです。そのために文脈や背景を理解しながら、読解して内容を理解する力の育成が必要です。そのことに配慮して、授業を進めます。これはい英語でも日本語でも同じです。</p> <p>第三に、看護/作業療法/理学療法の業務に就くと、社会の様々な状況に関連する課題に直面します。その状況をきちんと理解するには、この授業も役立つでしょう。なぜなら日本のことは当然視しすぎて気付けないことが多いですが、英国の状況を学ぶことによって、対比的・類比的に自分の周りにある当たり前で思ってきた日本の社会状況が理解できるようになるからです。他所の国や地域との「対比」によって自分の周囲を「相対化」して「俯瞰」の位置から見る力がつきます。それこそが、医療人に必要な教養となります。この3点をこの授業で、楽しく身につけていきましょう！</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> * 中上級程度の英文(教科書の英文)の内容を理解できる * 中上級程度の英文(教科書の英文)の文法や構文の構造を把握することができる * 中上級程度の英文(教科書の英文)を「正確に読む」という姿勢が身につく * 英文に描かれた社会や文化の状況を、日常生活に具体的にあてはめて理解に努めることができる * 英文に絵がれた社会や文化の状況を、日本と対比しながら説明することが日本語でできる * 本文に関連する内容について、英語で短いコメントをしたり、簡単な質問をしたりする 		
関連科目	保健医療英語、英会話、アカデミック英語、中国語、ロシア語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業	30%	
	宿題・課題	25%	
	試験・レポート	45%	
教科書	①Collin Joyce と Yasushi Mano [2014年] 「Reaslise Britain」 金星堂		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	2年生になったら、具体的な医療臨床の英語を学んでください。1年生のうちは、まずはその土台をつくりましょう。英和辞典(紙または電子辞書)と(できれば和英辞典)を持参して下さい。英英辞典も推奨します。講師はイギリスで10年以上にわたり暮らしていたので、その体験を踏まえて講義をします。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
-----	-----	---------	----	------

1	ガイドランス 教科書 Chapter 1 A fortunate Accident の読解	事前：教科書を読む 事後：復習/課題取り組む	演習	佐々木香織
2	教科書 Chapter 2 Britain's Best Ride の読解	〃	〃	〃
3	教科書 Chapter 3 The meaning of Bond の読解	〃	〃	〃
4	教科書 Chapter 4 The Changing High Street の読解	〃	〃	〃
5	教科書 Chapter 5 Mild and Cloudy with a Chance of Rain の読解	〃	〃	〃
6	教科書 Chapter 6 Expressive Expressions の読解	〃	〃	〃
7	教科書 Chapter 7 A Woman of Some Importance の読解	〃	〃	〃
8	教科書 Chapter 8 Shakespeare Lives on の読解	〃	〃	〃
9	教科書 Chapter 9 British Food: Better than Awful の読解	〃	〃	〃
10	教科書 Chapter 10 A Complicated Country の読解	〃	〃	〃
11	教科書 Chapter 11 The Quite Fab Four の読解	〃	〃	〃
12	教科書 Chapter 12 A Vulgar Custom の読解	〃	〃	〃
13	教科書 Chapter 13 The Invention of Sport の読解	〃	〃	〃
14	教科書 Chapter 14 Changing Classes の読解	〃	〃	〃
15	教科書 Chapter 15 The Little Plane that Won the War の読解	〃	〃	〃

授業科目	実践英語D	1 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	佐々木香織 (教育研究棟 I C708 号室) e-mail : kaorisasaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	グレゴリー・ウィーラー (教育研究棟 I C706 号) e-mail : wheeler@sapmed.ac.jp
担当教員	(リームスト・ピーター)		
概要	This class is designed to give you the opportunity to utilize and enhance your speaking skills while exchanging ideas in English across a range of topics. The primary aim is to encourage you to think and express yourself in another language. Listening carefully to others and responding appropriately to what they say are essential traits to acquire in this class. The emphasis will be on building effective communication skills. Learning methods include pair work, group work, and presentations.		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. To develop your overall language skills 2. To explore contemporary themes and issues 3. To enhance your expressiveness 4. To help you articulate ideas in a clear, persuasive, and coherent manner 5. To help you become more confident and effective communicators in English 		
関連科目	英会話、ロシア語、中国語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	Class participation	30%	Please note that participation means active involvement in activities during class, and not simply being 'present' in the room. Group speaking tasks will involve discussions based on themes that have been mutually agreed upon by the members of the group. Presentations will be individual presentations on a theme chosen by the presenter.
	Group speaking tasks	40%	
	Presentations	30%	
教科書	指定なし There is no set text for this course. The instructor will provide materials.		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>This is a course which requires active participation. The more you put into it, the more you will get out of it. Therefore, I encourage you to come to classes fully prepared and ready to actively join in activities. Please be aware that the course program may be adjusted depending on circumstances.</p> <p>※非常勤講師のため普段は学内にいません。用事がある場合は講義の前後に申し出てください。</p> <p>・IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いてません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	Introduction to the course; getting to know you	Before: Preview syllabus After: Review syllabus and question forms	講義・演習	(リームスト)
2	Information exchange; Interviews	Before: Prepare ideas After: Review materials	演習	"
3	Summary of one interview and a brief presentation	Before: Prepare and practise reading a brief presentation After: Review themes	発表	"

4	Discussion-based theme 1	Before: Preview materials for this class After: Review; prepare questions for the next class	講義・演習	〃
5	Discussion-based theme 1 continued	Before: Write and practise reading a summary for this class After: Review of themes	演習・発表	〃
6	Prompts for short group talks; preparation and practice	Before: Study materials and prepare ideas for this class After: Review of question forms	講義・演習	〃
7	Group speaking test	Before: Prepare for the test After: Reflection	テスト	〃
8	Discussion-based theme 2	Before: Preview materials for this class After: Review themes	講義・演習	〃
9	Discussion-based theme 2 continued	Before: Ponder the questions in depth After: Review themes	演習	〃
10	Discussion-based theme 3	Before: Preview materials for this class After: Review themes	講義・演習	〃
11	Discussion-based theme 3 continued	Before: Write and practise reading a short paragraph on a theme After: Review themes of course	発表	〃
12	Developing discussion and presentation topics; preparation and practice	Before: Study materials/themes and prepare ideas After: Review speaking strategies	講義・演習	〃
13	Practice for a group speaking test	Before: Prepare ideas After: Review speaking strategies	演習	〃
14	Group speaking test; notes on presentations and planning for final presentations	Before: Prepare for the test After: Reflection; prepare script	試験・講義	〃
15	Final presentations	Before: Practise speaking your script After: Keep studying English!	講義・発表	〃

授業科目	保健医療英語 A	2 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	佐々木 香織 (教育研究棟 C708 号) e-mail : Idai_Eng_PartTime@outlook.jp (本科 目の連絡にはこちらが好ましい) または kaorisasaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	佐々木 香織 (教育研究棟 C708 号) e-mail : Idai_Eng_PartTime@outlook.jp
担当教員	(白土淳子)		
概要	1 年前期の英会話、1 年後期の実践英語を踏まえ、医療現場で使用される基本的な医学英語や表現に慣れ、それを土台にして、基本的な医療英会話ができるようになることを目的とする。この科目は3 学科合同で行います。		
到達目標	1. 基本的な医療英語に関する語彙・定型表現を習得し、医療に関わる英文が読めるようになる。 2. 医療現場において患者さんと英語で簡単なコミュニケーションが取れるようになる。		
関連科目	英会話、保健医療英語、アカデミック英語、中国語、ロシア語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業中の質問や発言の状況	20%	
	小テスト	30%	
	試験	50%	
教科書	①稲富百合子/Dion Clingwall [2017 年] 「Introduction to Medical English 医療英語入門」 松柏社		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>下記スケジュールは授業進捗状況等によって変更する場合があります。</p> <p>※非常勤講師のため普段は学内にいません。用事がある場合は講義の前後に申し出てください。</p> <p>・IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション(授業計画、授業中の注意点、成績評価方法等)：自己紹介 [語彙・表現・文法事項]：医療従事者	テキスト、配布教材の予復習	演習	(白土)
2	Chapter 1：受診の予約 [語彙・表現・文法事項]：症状 / 動詞の時制	〃	〃	〃
3	Chapter 2：受診 [語彙・表現・文法事項]：許可を求める表現 / 依頼表現	〃	〃	〃
4	Chapter 3：問診・診察 [語彙・表現・文法事項]：問診の取り方 / 質問の種類	〃	〃	〃
5	Chapter 4：薬の服用 [語彙・表現・文法事項]：薬の種類 / 薬の服用に関する説明	〃	〃	〃

6	Chapter 5 : 再受診・検査 [語彙・表現・文法事項] : 痛み	〃	〃	〃
7	Chapter 6 : 胃の検査 [語彙・表現・文法事項] : アレルギー症状	〃	〃	〃
8	Chapter 7 : 検査結果・入院 [語彙・表現・文法事項] : 臓器と疾病	〃	〃	〃
9	中間試験 (リスニング&筆記テスト)	〃	〃	〃
10	Chapter 11 : リハビリ [語彙・表現・文法事項] : リハビリの基本動作	〃	〃	〃
11	Chapter 11: リハビリ [語彙・表現・文法事項] : 怪我・創傷 / リハビリの運動(1) Reading (1) Spinal Cord Injury (脊髄損傷)	〃	〃	〃
12	Chapter 11 : リハビリ [語彙・表現・文法事項] : リハビリの運動(2) Reading (2) Cerebral Apoplexy (脳卒中)	〃	〃	〃
13	Chapter 11 : リハビリ [語彙・表現・文法事項] : リハビリの運動 (3) Reading (3) Parkinson' s Disease (パーキンソン病)	〃	〃	〃
14	Chapter 13 : 回復・退院許可・退院後の生活指導 [語彙・表現・文法事項] : リハビリの運動 (4) Reading (4) Osteoporosis (骨粗鬆症)	〃	〃	〃
15	Chapter 14 : 退院 Reading (5) Case Study (事例研究)	〃	〃	〃

授業科目	保健医療英語 B	2 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	佐々木香織 (教育研究棟 C708 号) e-mail : Idai_Eng_PartTime@outlook.jp (本科目の連絡には、こちらが好ましい) または kaorisasaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	佐々木香織 (教育研究棟 C708 号) e-mail : Idai_Eng_PartTime@outlook.jp
担当教員	(北間砂織)		
概要	1 年次での英語関連の講義を踏まえ、通訳訓練の手法を応用してスピーキングとリスニングの力を養い、医療現場で外国人患者に対応できる基本的な医療英会話を身につけることを目指します。また、医療に関する時事問題を適宜取り上げて、リーディングとライティングも並行して行います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な医療英語の意味が分かり、発音できる。 基本的な医療英会話の要点が分かる。 英語で患者さんと簡単なコミュニケーションがとれる。 		
関連科目	英会話、保健医療英語、アカデミック英語、中国語、ロシア語		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	授業参加度	20%	授業参加度は、授業内での活動への積極的な参加、個人およびグループで行う課題への取り組みや提出状況などから総合的に判断する。
	豆テスト	30%	
	試験	50%	
教科書	①服部しのぶ [2017 年] 「病院スタッフのためのシチュエーション英会話」 メジカルビュー社		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>下記スケジュールは授業進捗状況等によって変更場合があります。</p> <p>※非常勤講師のため普段は学内にいません。用事がある場合は講義の前後に申し出てください。</p> <p>・ IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション	事前：シラバスの確認 事後：授業内容の確認	演習	(北間)
2	Chapter 1 受付	事前：Chapter 1 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
3	Chapter 2 病院案内	事前：Chapter 2 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
4	Chapter 3 電話対応	事前：Chapter 3 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
5	Chapter 4 会計	事前：Chapter 4 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
6	Chapter 5 予約	事前：Chapter 5 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃

7	Chapter 6 入院生活	事前：Chapter 6 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
8	Chapter 7 診察	事前：Chapter 7 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
9	Chapter 8 検査	事前：Chapter 8 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
10	Chapter 9 薬局	事前：Chapter 9 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
11	Chapter 10 リハビリテーション	事前：Chapter 10 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
12	Chapter 11 災害時の対応	事前：Chapter 11 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
13	Chapter 12 避難所生活	事前：Chapter 12 に目を通す 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
14	まとめ	事前：これまで学んだことの確認 事後：授業内容の確認・復習	〃	〃
15	試験	試験	〃	〃

授業科目	保健医療英語 C	2 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	佐々木 香織 (教育研究棟 C708 号) e-mail : Idai_Eng_PartTime@outlook.jp	非常勤講師 連絡担当教員	佐々木 香織 (教育研究棟 C708 号) e-mail : kaorisasaki@sapmed.ac.jp
担当教員	(久住奈水子)		
概要	1 年次の英語学習を踏まえ、通訳訓練法を取り入れた学習によりリスニングやスピーキング力を養い、医療現場で外国人患者に対応できる基本的な知識を身につけコミュニケーションがとれるようになることを目指します。 また医療・健康・異文化理解などのトピックス関連のニュースや動画・SNS などを使用したリーディング・リスニング学習も適宜行います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な医療英語の意味が分かり、発音できる。 基本的な医療英会話の要点がわかる。 英語で患者さんと簡単なコミュニケーションがとれる。 		
関連科目	英会話、保健医療英語、アカデミック英語、中国語、ロシア語		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考 授業参加度には、授業中の質問や発言、ペアワーク、グループワークなどの取り組みや課題の提出状況などが含まれます。
	授業参加度	20%	
	豆テスト等	30%	
	試験	50%	
教科書	①服部しのぶ [2017 年] 「病院スタッフのためのシチュエーション英会話」 メジカルビュー社		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ペアワークやロールプレイなど、目・耳・口を使って訓練し、発話をします。 スケジュールや内容は、授業進捗状況により変更する場合があります。 <p>※非常勤講師のため普段は学内にいません。用事がある場合は講義の前後に申し出てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> IC カードリーダーでの出欠は英語関連科目では行いません。 		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション	事前 シラバスの確認 事後 授業内容の確認	演習	(久住)
2	Chapter 1 受付	事前 Chapter 1 に目を通す 事後 授業内容の確認・復習	"	"
3	Chapter 2 病院案内	事前 Chapter 2 に目を通す 事後 授業内容の確認・復習	"	"
4	Chapter 3 電話対応	事前 Chapter 3 に目を通す 事後 授業内容の確認・復習	"	"
5	Chapter 4 会計	事前 Chapter 4 に目を通す 事後 授業内容の確認・復習	"	"
6	Chapter 5 予約	事前 Chapter 5 に目を通す 事後 授業内容の確認・復習	"	"
7	Chapter 6 入院生活	事前 Chapter 6 に目を通す 事後 授業内容の確認・復習	"	"
8	Chapter 7 診察	事前 Chapter 7 に目を通す 事後 授業内容の確認・復習	"	"

9	まとめ(中間)	事前 これまでの学習の確認 事後 授業内容の確認・復習	〃	〃
10	Chapter 8 検査	事前 Chapter8に目を通す 事後 授業内容の確認	〃	〃
11	Chapter 9 薬局	事前 Chapter9に目を通す 事後 授業内容の確認・復習	〃	〃
12	Chapter 10 リハビリテーション	事前 Chapter10に目を通す 事後 授業内容の確認・復習	〃	〃
13	Chapter 11 災害時の対応	事前 Chapter11に目を通す 事後 授業内容の確認	〃	〃
14	Chapter 12 避難所生活	事前 Chapter12に目を通す 事後 授業内容の確認・復習	〃	〃
15	まとめ	事前 これまでの学習の確認 事後 授業内容の確認・復習	〃	〃

授業科目	保健医療英語D	2 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	佐々木 香織 (教育研究棟 C708 号) e-mail : kaorisasaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	佐々木 香織 (教育研究棟 C708 号) e-mail : kaorisasaki@sapmed.ac.jp
担当教員	(武部エイミー)		
概要	1 年前期の英会話、1 年後期の実践英語を踏まえ、医療現場で使用される基本的な医学英語や表現に慣れ、それを土台にして、基本的な医療英会話ができるようになることを目的とする。この科目は3 学科合同で行う。		
到達目標	1. 医療看護に関わる様々なトピックから基本的な医療語彙、表現を学び、医療現場において患者さんと英語でコミュニケーションができるようになる。 2. 医療や看護に関わる初歩的な英文記事を読むことができる。		
関連科目	英会話、保健医療英語、アカデミック英語、中国語、ロシア語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業中の質問や発言の状況	20%	
	小テスト	30%	
	試験	50%	
教科書	①平野 美津子 / Christine D. Kuramoto / 落合 亮太 [2019 年] 「アニメで学ぶ看護英語 - Talking with Your Patients in English」 成美堂		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>下記スケジュールは授業進捗状況等によって変更する場合があります。</p> <p>※非常勤講師のため普段は学内にいません。用事がある場合は講義の前後に申し出てください。</p> <p>・ IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション(授業計画、授業中の注意点、成績評価方法等)：自己紹介	テキスト、配布教材の予復習	演習	(武部エイミー)
2	Chapter 1：患者を迎える [語彙・表現]：病室内備品	〃	〃	〃
3	Chapter 2：バイタルサイン測定 [語彙・表現]：脈拍測定部位	〃	〃	〃
4	Chapter 3：痛みのアセスメント [語彙・表現]：体の部位名	〃	〃	〃
5	Chapter 4：症状 [語彙・表現]：検査項目	〃	〃	〃
6	Chapter 5：体位変換/移乗 [語彙・表現]：歩行補助機器	〃	〃	〃

7	Chapter 6 : 診療科目 [語彙・表現] : 人体器官系	〃	〃	〃
8	Chapter 7 :まとめと医学英語の構造	〃	〃	〃
9	中間試験 (リスニング&筆記テスト)	〃	〃	〃
10	Chapter 10 : 排泄 [語彙・表現] : 排便、排尿に関わる語彙	〃	〃	〃
11	Chapter 11 :慢性疾患 [語彙・表現] : 慢性疾患	〃	〃	〃
12	Chapter 12: 急性期/手術室 [語彙・表現] : 集中治療用語	〃	〃	〃
13	Chapter 13: 妊婦検診 [語彙・表現] : 産科用語	〃	〃	〃
14	Chapter 14:まとめと医学英語の構造	〃	〃	〃
15	期末試験 (リスニング&筆記テスト)	〃	〃	〃

授業科目	アカデミック英語A1 (ディスカッション)	2~4 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	山口 和彦 (教育研究棟 IC707 号) e-mail : yamak@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	グレゴリー・ウィーラー		
概要	<p>In this course, we will mostly hold discussions in (usually) small groups about topics (current events) felt to be important. As much as possible, medical and health issues will be discussed. The instructor will lead most of the early discussions, which he will likely choose, but the goal is for the students to choose topics and lead discussions as the course progresses. All students in fact will lead a discussion at some point in the class. Depending on the class size, students may lead the discussions more than once.</p> <p>For several of the classes during the first half of the course, the instructor will provide tips that he hopes will be helpful toward facilitating smooth discussions.</p> <p>Overall goals of the course are for students to develop (1) improved organizational skills, (2) greater interest in topics (especially medical-related) that may be important in their future careers and (3) confidence speaking English in public.</p> <p>Of note, a discussion is not a lecture: often, the leader speaks very little during the discussion.</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> Students will be put into small groups in order to allow everyone to have opportunities to speak. Students will research/prepare for the topic discussions before class in order to be ready to participate. By leading discussions on their own during the second half of the course, students should develop organizational skills necessary to prepare for and lead a discussion. 		
関連科目	アカデミック英語B、保健医療英語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	Class work	40%	
	Homework	20%	
	Leadership	40%	
教科書	①All material will be provided by the instructor. Students will need to bring a pen/pencil and paper to class.		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>It is important that students understand that a discussion is more than “Yes” or “No” questions; it is also important to consider feelings about and solutions to a problem. When necessary, students will need to focus on what can be done to solve a problem.</p> <p>・IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	Introductions and expectations	Before class: Look at syllabus After class: Review handout received in class concerning expectations.	講義・演習	ウィーラー
2	Discussing the three departments in Health-Sciences (Of note, all topics of discussion listed are subject to	Before class: Review introduction/expectations handout.	演習	”

	change, depending on the wishes of the students.)	After class: Review topic discussed. Consider follow-up questions for next class.		
3	Medical ethics	Before class: Review handouts about discussion tips. After class: Review topic discussed. Consider follow-up questions for next class.	"	"
4	Importance of English in the Japanese medical profession	"	"	"
5	Discussing a patient's diagnosis/treatment	"	"	"
6	Working with "difficult" patients	"	"	"
7	Designing a rehabilitation program	"	"	"
8	Discussing how Sapporo rates concerning ease of mobility for the physically disabled	"	"	"
9	Presenting bad news	"	"	"
10	Suggesting life-style changes for patients	"	"	"
11	Discussion(s) chosen and led by students	"	"	"
12	Discussion(s) chosen and led by students	"	"	"
13	Discussion(s) chosen and led by students	"	"	"
14	Discussion(s) chosen and led by students	"	"	"
15	Discussion(s) chosen and led by students	"	"	"

授業科目	アカデミック英語 A2 (リーディング)	2～4 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	山口 和彦 (教育研究棟棟 C707 号) e-mail : yamak@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	山口和彦		
概要	<p>・この授業では、英語の読解力の向上を目指します。英語を読むのが好きな人、英語の力を伸ばしたい人、大学院受験を考えている人などの参加を歓迎します。読むものは新聞、ニュース、一般向け雑誌の科学・医療記事を念頭においていますが、参加者の希望を優先します。英語がきちんと読めるようになる辞書の使い方や頭の使い方を実践的に学びます。要望があれば文法の復習もします。</p> <p>・アカデミック英語とは全ての学術分野に共通する専門英語の土台となる英語です。具体的には学術的な文章・論文を理解する・書く、学会で発表する・討論することなどに必要なフォーマルな英語を指します。</p> <p>・この授業は2～4年の複数学年で開講されています。どの半期でも自由に選択することができます(2-4年の全部を履修する必要はありません)。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語が正確に読めるとはどういうことか理解できる。 2. テキスト中の表現(単語、熟語など)に習熟する。 3. 英語を読むために必要な辞書の使い方が分かる。 		
関連科目	英会話、実践英語、保険医療英語、中国語、ロシア語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業参加度	90%	
	学習状況	10%	
教科書	①プリント配布		
参考書	①授業中に随時紹介します		
履修上の留意点	<p>・積極的な授業参加を期待します。辞書を必ず持参して下さい。電子辞書でも構いません。</p> <p>・辞書は最低2冊あると便利です。一冊目としては、『ウィズダム英和辞典』『ジーニアス英和辞典』をお勧めします。2冊目としては、『ライトハウス英和辞典』『コアレックス英和辞典』『グランドセンチュリー英和辞典』などをお勧めします。</p> <p>・受験時代に使った総合英語や文法書も持参して下さい。</p> <p>※IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション	講義	講義・演習	山口
2	発音記号の復習 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
3	アクセントとプロソディ 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
4	伝わる音読の仕方 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
5	ニュース、新聞記事の構成 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
6	コロケーションについて 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃

7	句動詞攻略法 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
8	イディオム攻略法 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
9	文のつながりについて 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
10	読解に必要な文法 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
11	英和辞典の使い方 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
12	英英辞典の使い方 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
13	紙の辞書と電子辞書の使い分け 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
14	予備日	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃
15	まとめ (学習内容の順番や内容は変更する場合があります)	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	講義・演習	〃

授業科目	アカデミック英語B1 (プレゼンテーション)	2~4 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	山口 和彦 (教育研究棟 IC707 号) e-mail : yamak@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	グレゴリー・ウィーラー		
概要	Presentations, even in one's native language, can be very difficult (and scary). A major goal of this course is to help students gain the confidence to make short presentations in front of an audience. At the same time, it is hoped that students will be able to increase their English vocabulary in the field (nursing, occupational therapy, physical therapy) in which they study. During this course, students will be giving "mini" presentations almost every week and two longer presentations (that will be about 10-15 minutes).		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Focus on body language, and how to avoid looking "awkward" while making a presentation. 2. Discuss "proper" use of presentation software commonly used during presentations. 3. Examine appropriate language (differences between formal and informal language) to use during presentations. 4. Discuss manners of organizing presentations. 		
関連科目	アカデミック英語A、保健医療英語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	Class work	30%	
	Presentation #1	30%	
	Presentation #2	40%	
教科書	①All material will be provided by the instructor. Students will need to bring a pen/pencil and paper to class.		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>It will be very important for students to be prepared to participate fully during class.</p> <p>・IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	Introductions and expectations. Instructor will give example of bad/better presentation	Review handout received in class.	講義・演習	ウィーラー
2	Body language	Before class: Review introduction/expectations handout. After class: Review handout on body language. Prepare for next week's mini-presentation.	〃	〃
3	Reading a presentation vs speaking from notes	Before class: Prepare for next week's mini-presentation. After class: Review previous handouts.	講義・演習・発表	〃
4	Presentation introductions	Before class: Review previous handouts. After class: Review handout about introductions to presentations. Prepare to do presentation introductions for next class.	講義・演習	〃
5	Presentation introductions (with all students giving their introduction to the main presentation)	Before class: Review handout about introductions to presentations.	講義・演習・発表	〃

6	Visual aids (including PowerPoint) that may be used during presentations	After class: Review visual aids handout.	講義・演習	〃
7	Presentation bodies	Before class: Review visual aids handout. After class: Review handout on presentation bodies.	〃	〃
8	Language and delivery	Before class: Review handout on presentation bodies. After class: Review appropriate language handout. Prepare for first main presentation.	〃	〃
9	First presentations (conclusions not necessary)	Before class: Review appropriate language handout. Prepare for first main presentation.	発表	〃
10	First presentations (to be conducted on Zoom)	Before class: Review appropriate language handout. Prepare for first main presentation (Zoom).	〃	〃
11	Conclusions	After class: Review handout on presentation conclusions. Prepare to do presentation conclusions for next class.	講義・演習	〃
12	Conclusions (with all students giving their conclusion to the main presentation)	Before class: Review handout on presentation conclusions. Prepare to do presentation conclusions for next class.	講義・演習・発表	〃
13	Answering questions from the audience	After class: Review handout on answering audience questions; prepare for final presentations.	講義・演習	〃
14	Final presentations	Before class: Prepare for final presentations.	発表	〃
15	Final presentations (to be conducted on Zoom)	Before class: Prepare for final presentations (Zoom).	〃	〃

授業科目	アカデミック英語 B2 (リーディング)	2～4 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	山口 和彦 (教育研究棟 C707 号) e-mail : yamak@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	山口和彦		
概要	<p>・この授業では、英語の読む力を高めることを目指します。英語の力を伸ばしたい人、大学院受験を考えている人、英語を読むのが好きな人、などの参加を歓迎します。読むものは一般向けの科学や医療に関する本を念頭においていますが、参加者の希望を優先します。どのようにすれば英語が正確に読めるようになるかを実践します。要望があれば文法の復習もします。</p> <p>・アカデミック英語とは全ての学術分野に共通する専門英語の土台となる英語です。具体的には学術的な文章・論文を理解する・書く、学会で発表する・討論することなどに必要なフォーマルな英語を指します。)</p> <p>・この授業は 2～4 年の複数学年で開講されています。どの半期でも自由に選択することができます(2～4 年の全部を履修する必要はありません)。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語が正確に読めるとはどういうことか理解できる。 2. テキスト中の表現(単語、熟語など)に習熟する。 3. 英語を読むために必要な辞書の使い方が分かる。 		
関連科目	英会話、実践英語、保険医療英語、中国語、ロシア語		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業参加度	90%	授業参加度は、授業内活動への積極的な参加、発表や応答の状況などから判断します。
	学習状況	10%	
教科書	①プリント配布		
参考書	①授業中に随時紹介します。		
履修上の留意点	<p>・積極的な授業参加を期待します。辞書を必ず持参して下さい。電子辞書でも構いません。</p> <p>・辞書は最低 2 冊あると便利です。一冊目としては、『ウィズダム英和辞典』『ジーニアス英和辞典』をお勧めします。2 冊目としては、『ライトハウス英和辞典』『コアレックス英和辞典』『グラントセンチュリー英和辞典』などをお勧めします。</p> <p>・受験時代に使った総合英語や文法書も持参して下さい。</p> <p>※IC カードリーダーでの出欠確認は英語関連科目では用いていません。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション	講義	講義・演習	山口
2	発音記号の復習 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
3	アクセントとプロソディ 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
4	伝わる音読の仕方 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
5	翻訳の利用の仕方 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
6	論文の構成 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃

7	英和辞典の使い方 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
8	英英辞典の使い方 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
9	紙の辞書と電子辞書の使い分け 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
10	読解に必要な文法 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
11	ヘッジングについて 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
12	事実と意見について 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
13	文のつながりについて 読解演習、音読	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
14	予備日	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃
15	まとめ (学習内容の順番や内容は変更する場合があります)	事前：プリントの予習 事後：プリントの復習	〃	〃

授業科目	ロシア語	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	(タチアーナ ヴラーソワ) (-) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	大柳俊夫 (教育研究棟 1 C715 号) e-mail : ohyanagi@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	ロシア語の発音とアルファベット、基本概念を整理しながら、日常会話の基礎を学びます。また、日常的なコミュニケーションのどうしても必要となる基本的な語彙や語句、決まった言い回しや表現を少しの間に効率よく身につける事などが主な授業の内容となります。		
到達目標	挨拶と日常生活的な会話が出来るようになる。		
関連科目	なし		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	80%	
	宿題提出	10%	
	講義中の小テスト	10%	
教科書	①札幌大学・北海道大学教科書編集委員会 [1999 年] 「基礎ロシア語コース、配布プリント」 教科書刊行会		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	授業への積極的な参加		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ロシア語での挨拶・ロシア語のアルファベット	事後：挨拶の復習	講義	(ヴラーソワ)
2	ロシア語のアルファベット・文字の始め ロシア基礎データ、ロシアの復活祭	事前：挨拶の復習 事後：文字の練習	〃	〃
3	簡単な言葉・読み書き ロシア地理データ	事前：アルファベットの復習 事後：単語の暗記	〃	〃
4	ロシア語のアルファベット・発音・アクセント・数	事前：読み書き練習 事後：宿題、文字の復習	〃	〃
5	自己紹介・ロシアの観光名所の紹介	事前：自己紹介の内容を考える 事前：ロシアのデータ復習	〃	〃
6	ロシア語の音読・月	事前：読み方練習 事後：宿題/アルファベット(後半)	〃	〃
7	聞き取り練習・ ロシアの日本食レストランのメニューの読み練習	事前：日本語の表記を調べる 事後：宿題/言葉を書く	〃	〃
8	単文の読みと理解 ロシア料理の概要	事前：読み書き練習 事前：月、数の復習	〃	〃
9	場所の表し方、副詞の用法 モスクワ国立大学の概要	事前：辞書を使った予習 事後：場所の復習	〃	〃
10	疑問詞がある疑問文	事前：読み書き練習 事後：場所の復習	〃	〃
11	疑問詞のない疑問文	事前：疑問文を考える 事後：宿題/ロシア語文を日本語へ翻	〃	〃

		訳		
12	場所の表し方・マトリョーシカの歴史について	事前：歴史について調べる 事後：場所の復習	〃	〃
13	会話の表現(挨拶など)・復習	事前：苦手な部分を復習 事後：挨拶の練習	〃	〃
14	前期の復習・試験の説明・ロシアに関するビデオ鑑賞 ロシア名作アニメ映画	事前：映画について調べる 事後：配布資料を基に試験勉強	〃	〃
15	前期の復習・試験の説明	事前：学んだことを復習 事後：配布資料を基に試験勉強	〃	〃

授業科目	中国語	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	李驚虹 (一) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	加茂憲一 (教育研究棟 I C704 号) e-mail : kamo@sapmed. ac. jp
担当教員			
概要	中国語は中国本土の 14 億人のほかに、香港、マカオ、台湾において、またシンガポール、マレーシアなど、そのほか世界各国の華僑の間でも話されている言葉である。中国語を話すことが出来れば、世界十数億の人々とコミュニケーションができるスケールの大きな言葉であり、同じ漢字文化圏に属する日本人にとって、中国語は極めて学習しやすい言葉であると言っても過言ではない。授業の中では、教科書に従って、その基本的な文法を紹介したい。時には、医療現場における会話も学習する。具体的には、漢字、発音、文型の三つを中心に学習を進めていく。		
到達目標	当コースの目的は中国語の発音、基本的な文法、日常会話と医療の現場で役に立つ表現の獲得である。		
関連科目	なし		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	試験中間	20%	中間、期末の 2 回の考査のほか、日常の授業態度、宿題の提出も含めて総合的に評価する。
	試験期末	60%	
	学習状況	20%	
教科書	①陳 淑梅 [2023 年初版・2,420 円] 「かんたん 楽ショウ! 初級中国語 入門編」 朝日出版社		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	中国語の指導だけでなく、発音学習のモチベーションを保つために、授業中では、積極的に会話の練習を取り入れる。さらに、常に自分の成長が確認できるように、毎回の授業で課題を実施する。 ※参考書は適宜紹介する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	中国語の特徴(漢字、発音、文型) 中国語の発音表記(母音、子音、声調)	事前:教科書の準備 事後:発音表記の復習	講義	李驚虹
2	中国語の発音表記(母音、子音、声調)	事前:特になし 事後:発音表記の復習	〃	〃
3	中国語の発音表記(母音、子音、声調)	事前:特になし 事後:発音表記の復習	〃	〃
4	中国語の発音表記(母音、子音、声調) 日常の挨拶	事前:特になし 事後:発音表記の復習	〃	〃
5	姓名の名乗り方 人称代名詞	事前:第五課の予習 事後:第五課の復習	〃	〃
6	「～である」を表す動詞“是 shi” 「～の」を表す助詞“的 de”	事前:第六課の予習 事後:第六課の復習	〃	〃
7	動詞述語文(SVO) 選択疑問文と疑問詞疑問文 中間試験	事前:第七課の予習 事後:第七課の復習	〃	〃
8	動詞“喜歡 xihuan (～を好む)” 助動詞“想 xiang (～したい)”	事前:第八課の予習 事後:第八課の復習	〃	〃

9	所在を表す動詞“在 zai” 前置詞“从 cong (～から)往 wang(～へ)”	事前：第九課の予習 事後：第九課の復習	”	”
10	数詞、量詞 存在を表す動詞“有 you”	事前：第十課の予習 事後：第十課の復習	”	”
11	動詞“請 qing(～してください)” 動詞“要 yao”(もらう)	事前：第十一課の予習 事後：第十一課の復習	”	”
12	年月日、曜日の言い方 年齢の言い方と尋ね方	事前：第十二課の予習 事後：第十二課の復習	”	”
13	時刻の言い方、使い方 二重目的語をとる動詞の使い方	事前：第十三課の予習 事後：第十三課の復習	”	”
14	時間の長さの言い方、使い方 形容詞述語文	事前：第十四課の予習 事後：第十四課の復習	”	”
15	総復習	事後：復習	”	”